

HP Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 9.10

HP Program Management ユーザーズガイド

ドキュメントリリース日: 2010年9月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2010年9月 (英語版)



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付属する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 1997-2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Intel®, Intel® Itanium®, Intel® Xeon®, および Pentium® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java™ は、Sun Microsystems, Inc. の米国商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows® XP, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation とその子会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最近更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細については、HPの営業担当にお問い合わせください。

バージョン番号が9.10である理由

PPM Centerは、HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオに組み込まれています。このバージョン番号を使用するのは、PPM Centerのバージョンと、同時期にリリースされる他の製品のバージョンを揃えるためです。PPM Center 9.10はPPM Center 8.0xをベースとしており、このバージョンの製品ファミリーを拡張した製品となっています。HP BTO Operationsバージョン9ポートフォリオ内でリリースされる製品では、共有のテクノロジー、共通のプラットフォーム、統合、ソリューション、アップグレードツール、プロフェッショナルサービスが提供されます。

サポート

次のHPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com/>

HPソフトウェアサポートオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HPソフトウェアサポートWebサイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。

アクセスレベルに関する詳細は、次のWebサイトを参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP PassportのIDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

目次

1	HP Program Managementの開始	9
	HP Program Managementの紹介	9
	HP Program Managementの概要	10
	関連ドキュメント	13
2	プログラムの作成	15
	プログラムの作成の概要	15
	プログラムの作成	16
3	ビジネス目標、問題、リスク、スコープの変更	17
	ビジネス目標の概要	17
	ビジネス目標の作成	17
	ビジネス目標の管理	19
	ビジネス目標の変更	19
	ビジネス目標の削除	20
	問題、リスク、プロジェクトスコープの変更の送信	21
	プログラムの問題の送信	22
	プロジェクトの問題の送信	25
	プログラムレベルのリスクの送信	29
	プロジェクトリスクの送信	32
	プロジェクトのスコープ変更の送信	34
4	プログラムの表示と変更	39
	プログラムの検索、変更、エクスポートの概要	39
	プログラムの検索	40
	検索ボックスの使用	40
	[プログラムの検索] ページの使用	41
	プログラムの変更の概要	44

プログラムの一般情報の変更	44
プログラムからのライフサイクルエンティティ、ビジネス目標、参照の削除	49
プログラムの削除	50
プログラムの設定	50
HP Financial Management	50
HP Portfolio Management	51
プログラムインジケータの設定	52
プロジェクトおよびプログラムの問題	52
プログラムリスク	54
プログラムのスコープ変更	56
プログラム設定の変更	57
プログラムのアクセスの設定	61
プログラムの優先度の更新	65
プログラム参照の追加	66
参照としての添付ファイル	66
参照としての既存パッケージ	67
参照としての新規パッケージ	68
参照としてのプロジェクト	69
参照としての既存リクエスト	71
参照としての新規リクエスト	72
参照としてのタスク	74
参照としてのURL	76
Microsoft Excelへのプログラムのエクスポート	77
5 プログラムの管理	79
HP Program Managementの管理の概要	79
問題の管理	80
プログラムの問題の検索	81
プロジェクトの問題の検索	83
問題アクティビティの分析	85
問題解決時間の分析	87
リスクの管理	88
プロジェクトリスクの検索	88
プログラムリスクの検索	91
リスクアクティビティの分析	91
リスク解決時間の分析	93

スコープ変更の管理	94
スコープ変更の検索	94
スコープ変更アクティビティの分析	96
スコープ変更解決時間の分析	98
プログラムプロセスの管理	99
問題プロセスの管理	99
プロジェクトリスクプロセスの管理	100
プログラムリスクプロセスの管理	100
スコープ変更プロセスの管理	101
6 [プログラムマネージャ] ページ	103
[プログラムマネージャ] ページの概要	103
PPM Dashboard への [プログラムマネージャ] ページの追加	105
[プログラムマネージャ] ページのポートレット	106
プログラムリストポートレット	106
プログラムコンテンツリストポートレット	107
問題リストポートレット	108
プログラムのスコープ変更リストポートレット	109
プログラムリスクリストポートレット	110
プログラムコストサマリポートレット	111
ポートレットのカスタマイズ	112
索引	113

1 HP Program Managementの開始

HP Program Managementの紹介

HP Program Management はHP Project and Portfolio Management Center (PPM Center) の一製品であり、これを使用して組織のプログラムおよびライフサイクルエンティティのポートフォリオの起動、運用、管理を一元的に行うことができます。

このマニュアルでは、「ライフサイクルエンティティ」という言葉をプロポーザル、提案、または資産の意味で使用する場合があります。また、総体としてのライフサイクルエンティティは、プロポーザル、提案、資産の任意の組み合わせです。



これらのタイプのライフサイクルエンティティはそれぞれゼロから作成することができますが、一般的には、提案が承認された時点でプロジェクトになり、プロジェクトが完了した時点で資産になります。この進行をライフサイクルと呼びます。提案、プロジェクト、資産は、このライフサイクルを構成するエンティティです。

HP Program Management を使用して、次のことが可能です。

- ITプロジェクトとビジネス目標の連係
- 重複作業や優先度の低い作業の排除
- 運用効率の向上
- 納期および予算の遵守

HP Program Management では、これらのビジネス要件を満たすため、完全なプログラムライフサイクルソリューションを提供します。この製品により、関連するすべての機能仕様および優先順位を体系的に把握できます。プロジェクトスコープ、承認済み予算、その他のビジネスルールに基づき、ビジネスユーザが承認する仕組みが組み込まれています。お客様は、関連する提案、プロジェクト、資産、リクエストの表示と管理を1か所で行うことができるようになります。

HP Program Managementの概要

プログラムとは、一連の関連するライフサイクルエンティティのまとめです。一般的に、ビジネス目標を達成するために作業を調整することを目的としています。HP Program Managementを使用して、組織の提案、プロジェクト、資産を概略的に把握するプログラムを作成できます。

▶ プログラムの作成方法については、第2章「プログラムの作成」(15 ページ)を参照してください。プログラムを表示し、プログラムの優先度、一般情報、ヘルスインジケータ、セキュリティを更新する方法については、第4章「プログラムの表示と変更」(39 ページ)を参照してください。

ライフサイクルエンティティをまとめて1つのプログラムにする理由はさまざまです。プログラムを作成することで、1つのビジネス目標を達成するための一連のプロジェクトを管理できます。たとえば、1つの成果物を中心としてプログラムを設計することもあれば(インフラストラクチャ、連携開発、その他の成果物が必要なプロジェクト)、特定のクライアントのための作業を中心としてプログラムを設計することもあります。

ライフサイクルエンティティをどのようにプログラムにまとめるかは、組織内部での管理方法によって異なります。各プログラムには1人以上のオーナー(プログラムマネージャ)がおり、このオーナーがライフサイクルエンティティ全体の調整、個々のプロジェクトで解決できない問題の解決、全体の予算管理などを担当します。

ビジネス目標は異なるが、何か共通点がある一連のライフサイクルエンティティを可視化するためにプログラムを設計する場合があります。たとえば、ある部署がオーナーとなっているすべてのプロジェクトをまとめて把握するためのプログラムを作成できます(個々のプロジェクトが属しているプログラムがその他の関係を持たないことは問いません)。

HP Program Managementにより、プログラムの有効期間中に発生するさまざまなリスク、問題、変更を評価し、これらのイベントを管理するために必要な変更を加えることができます。

▶ ビジネス目標を設定してプログラムと関連付ける方法について、またリクエストを使ってプログラムの有効期間中に発生する懸念事項に対応する方法については、第3章「ビジネス目標、問題、リスク、スコープの変更」(17 ページ)を参照してください。プログラムの管理方法については、第5章「プログラムの管理」(79 ページ)を参照してください。

HP Program Managementにより、次のことが可能になります。

- 関連するITプロジェクトの監督
- プロジェクト間の成果物およびマイルストーンの調整
- スコープの変更管理
- リスクの識別と緩和
- プロジェクト間の問題の解決

HP Program Management インタフェースにアクセスするには、PPM Dashboard およびメニューバーを使用します。PPM Dashboardに表示されるポートレットをカスタマイズすることで、特定のビジネス要件を満たすことができます。



PPM Dashboard ページで表示できるHP Program Management ポートレットの詳細については、[第6章「\[プログラムマネージャ\] ページ」\(103 ページ\)](#)を参照してください。

標準インタフェースの一番上にはメニューバーがあります。これは階層的に編成されたタスクメニューで構成されています。HP Program Managementのほとんどの作業は、[開く] > [Program Management] メニューの項目から実行できます。ただし、このマニュアルで取り上げる一部のタスクを実行するには、[Project Management] および [管理] のサブメニューを使用します。図 1-1 に、メニューバーと PPM Dashboard を示します。

図 1-1. メニューバーと PPM Dashboard

The screenshot displays the HP Program Management dashboard interface. At the top, there is a navigation bar with options like 'ダッシュボード', '開く', '検索', '作成', 'マイリンク', '履歴', and 'メニューまたはエンティティの検索...'. Below this, the main content area is divided into several sections:

- プログラム マネージャ**: A summary view showing the latest version (2011/01/12 11:22:31) and a table of programs.
- プログラム リスト**: A table listing programs with columns for name, priority, manager, status, and risk.
- プログラム コンテンツ リスト**: A table listing content items with columns for ID, name, and type.
- 問題 リスト**: A table listing issues with columns for project, issue number, priority, escalation level, status, and description.
- プログラムのスコープ変更リスト**: A table listing scope change items with columns for project, change number, priority, level, status, and description.
- プログラム リスク リスト**: A table listing risks with columns for project, risk number, probability, impact level, status, and description.
- プログラム コスト サマリ**: A summary table of costs, including capital and operational costs, with planned and actual values in USD.

Each section includes an 'Excelにエクスポート' button and a pagination control.

関連ドキュメント

このマニュアルに加え、次の関連ドキュメントを参照することをお勧めします。

- 『HP Program Management Configuration Guide』
- 『HP Project Management ユーザーガイド』
- 『HP Demand Management ユーザーガイド』
- 『HP Financial Management ユーザーガイド』
- 『HP エンティティ ガイド』(HP Program Managementのすべてのポートレット、リクエストタイプ、およびワークフローの説明があります)



HP Program Managementの多くの制御は、『プロジェクトマネジメント知識体系ガイド』(プロジェクトマネジメント協会が発行しているPMBOKガイド)に基づいてモデル化されています。これらのプログラム制御には、問題、リスク、スコープの変更が含まれています。

2 プログラムの作成

プログラムの作成の概要

プログラムとは、プロジェクトと、関連するスコープの変更、リスク、問題の集まりです。プログラムにより、プロジェクト全体をドリルダウンしたり、関連データをロールアップしたりすることができます。また、プロジェクトと同様に、プログラムにもヘルスインジケータと設定可能な例外インジケータがあります。本章では、PPM Centerでプログラムを作成する方法について説明します。

たとえば、XYZ社では、マネージャが営業部門との統合を強化するために、カスタマサービス用コンピュータシステムのアップグレードを監督するプログラムを作成しています。カスタマサービス、営業、ITの各マネージャは、プロジェクトを作成します。各リソースが自分の作業を行う中、プログラムを通じて作業をリンクし、監視します。同時に、プログラムに対して送信されたリスクおよびスコープの変更のトラッキングと管理も行います。

プログラムの作成

プログラムを作成するには、HP Program Managementのライセンスのほか、[プログラムの編集] および [プログラムの作成] のアクセス許可、または [すべてのプログラムの編集] のアクセス許可が必要です。アクセス許可の詳細については、『セキュリティ モデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

プログラムを作成するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[作成] > [プログラム] を選択します。

[新規プログラムの作成] ページが開きます。

ダッシュボード - 新規ページ > 新規プログラムの作成
新規プログラムの作成

プログラム名:

プログラム マネージャ: 

3. [プログラム名] フィールドに、プログラムの名前を入力します。
4. (オプション) [プログラムマネージャ] フィールドで、プログラムマネージャとして任命するリソースを1人以上指定します。デフォルトでは、このフィールドには現在のユーザが表示されます。



プログラムにカスタムユーザフィールドを追加した場合、[新規プログラムの作成] ページにこのフィールドが表示されます。

5. [作成] をクリックします。

プログラムが作成され、[プログラムの概要] ページが開きます。

3 ビジネス目標、問題、リスク、スコープの変更

ビジネス目標の概要

ビジネス目標により、ビジネス上の目標を、優先順位の決定と PPM Center のほかのエンティティ (プログラムなど) との関係が可能な個別のエンティティとして把握できます。たとえば、XYZ 社は「納期に向けて注文を減らす」というビジネス目標を作成し、優先度をアサインし、カスタマサービス用システムをアップグレードするために作成したプログラムと関連付けています。ビジネス目標の作成は、HP Portfolio Management でも HP Program Management でも可能です。

プログラムを既存の目標と関連付けることもできます。プログラムをまだ存在しないビジネス目標と関連付けるには、プログラムの作成前にビジネス目標を作成するか、プログラムの作成後にビジネス目標を作成して関連付けます。本項では、HP Program Management からビジネス目標を作成するステップについて説明します。

ビジネス目標の作成

ビジネス目標を作成するには、次の手順を実行します。


1. PPM Center にログインします。

- メニューバーから、[作成] > [管理] > [ビジネス目標] を選択します。
[新規ビジネス目標の作成] ページが開きます。

新規ビジネス目標の作成

*名前:

ステータス:

オーナー: 

優先度:

説明:

フィールドのクリア

- 追加するビジネス目標の情報を入力します。

フィールド名	説明
名前	ビジネス目標の名前。
ステータス	ビジネス目標のステータス。 <ul style="list-style-type: none"> ● [進行中]: ビジネス目標は作成中です。 ● [達成済み]: ビジネス目標は達成済みです。 ● [キャンセル済み]: ビジネス目標はキャンセル済みです。
オーナー	このビジネス目標を担当するプログラムマネージャ。
優先度	ビジネス目標のランク付けをするために使用する、ゼロ以外の正の整数。複数のビジネス目標が同じ優先度を持つことができます。
説明	ビジネス目標の説明。

- [作成] をクリックします。

[ビジネス目標の管理] ページに、新しい目標が表示されます。

PPM Center インスタンスで複数の言語がサポートされている場合、作成するビジネス目標はログオン時に選択した言語 (セッション言語) で定義されます。ビジネス目標の作成後、そのビジネス目標は定義言語でのみ変更できます。詳細については、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。



ビジネス目標の管理

本項では、ビジネス目標の編集および削除方法について説明します。

ビジネス目標の変更

ビジネス目標は時間の経過とともに変化することがあるため、詳細を追加したり古い情報を削除したりして更新します。



PPM Center インスタンスで複数の言語がサポートされており、ビジネス目標がセッション言語以外の言語で定義されている場合、ビジネス目標を変更することはできません。詳細については、ヘッダーの **[理由]** をクリックするか、『Multilingual User Interface Guide』を参照してください。

ビジネス目標を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、**[検索]** > **[管理]** > **[ビジネス目標]** を選択します。

[ビジネス目標の管理] ページが開き、既存の目標がリストされます。

ビジネス目標の管理

名前	ステータス	オーナー	優先度	説明
<input checked="" type="checkbox"/> Compliance	進行中	Benjamin U. Cason	2	Ensure that practices are in compliance with regulatory requirements.
<input checked="" type="checkbox"/> Efficiency Across Teams	進行中	Barbara Getty		
<input checked="" type="checkbox"/> Expand to new markets	進行中	Dennis Morrison	1	Deploy sales force in new Pacific NW office.
<input checked="" type="checkbox"/> Top of the line infrastructure	アーカイブ済み	Ron Steel	1	

[新規ビジネス目標の作成](#)

3. **[名前]** カラムで、変更するビジネス目標の名前をクリックします。
[ビジネス目標の変更] ページが開きます。

ビジネス目標の変更: Increase Sales 2.5%

名前:

ステータス:

オーナー:

優先度:

説明:

4. 必要に応じてフィールドの値を変更し、**[完了]** をクリックします。

ビジネス目標の削除

ビジネス目標が古くなった場合、削除できます。

ビジネス目標を削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. メニューバーから、**[検索]** > **[管理]** > **[ビジネス目標]** を選択します。
[ビジネス目標の管理] ページが開き、既存の目標がリストされます。

ビジネス目標の管理

名前	ステータス	オーナー	優先度	説明
<input checked="" type="checkbox"/> Compliance	進行中	Benjamin U. Cason	2	Ensure that practices are in compliance with regulatory requirements.
<input checked="" type="checkbox"/> Efficiency Across Teams	進行中	Barbara Getty		
<input checked="" type="checkbox"/> Expand to new markets	進行中	Dennis Morrison	1	Deploy sales force in new Pacific NW office.
<input checked="" type="checkbox"/> Top of the line infrastructure	アーカイブ済み	Ron Steel	1	

3. 古い目標の左側にある [削除] アイコンをクリックします。

HP Program Management から、目標の削除の確認を求められます。

4. [OK] をクリックします。ビジネス目標が削除されます。

問題、リスク、プロジェクトスコープの変更の送信

プログラムの有効期間中には、対応が必要な懸念事項が発生します。PPM Center のフレームワークでは、リクエストを使用して、このような懸念事項を特定および解決します。リクエストは、送信 (作成)、トラッキング、却下、完了、レポートが可能です。

プログラムには、次のリクエストが影響します。

- **プログラムの問題。**プログラムそのものの実行に関する問題を管理するには、プログラムの問題を送信します。たとえば、プログラムにマネージャやサポートスタッフをうまくアサインできない場合、または企業の方向性が変わったためにプログラムの目標の再評価が必要な場合は、プログラムの問題を送信します。プログラムにリンクされているプロジェクトについて記録された問題をプロジェクトマネージャが解決できない場合、その問題をプログラムレベルで可視化する必要があります。多くの場合、プログラムの問題を解決するには、複数のプロジェクト間での連携が必要です。
- **プロジェクトの問題。**プロジェクトの問題により、プロジェクト関連のすべての問題を特定および解決するフレームワークが提供されます。解決プロセスを詳細に示すため、問題が複数のリクエストタイプにまたがっていることもあります。

たとえば、バグや機能拡張はいずれも問題であり、トラッキングにおいては共通するフィールドもありますが、各リクエストタイプはそれぞれにアサインされたワークフローに沿って処理されます。

- **プログラムリスク。**プログラムそのものの実行に関する脅威を管理するには、プログラムリスクを送信します。プログラムのヘルスインジケータを設定し、さまざまなレベルのリスクについてユーザーに警告できます。[プログラムの概要] ページには、プログラムリスクと、プログラムに含まれるプロジェクトのプロジェクトリスクの両方が表示されます。

- **プロジェクトリスク**。リスクにより、プロジェクトに対する脅威を記録および解決できます。起こり得るリスクに関する情報(インパクト、発生の可能性など)を収集するプロセスは合理化されています。プログラムのヘルスインジケータを設定し、さまざまなレベルのリスクについてユーザに警告できます。

たとえば、XYZ社のプログラマネージャは、カスタマサービスのアップグレードプログラムで、インパクトレベル1、発生の可能性が[高]のリスクが2個を超えて作成された場合に赤のインジケータが表示されるように設定しています。

- **プロジェクトのスコープ変更**。スコープの変更により、プログラムおよび個々のプロジェクトのスコープを管理できる状態を維持できます。送信したスコープ変更リクエストは評価された後、却下されるか、プログラムまたはプロジェクトのスコープに組み込まれます。プログラムおよびプロジェクトのスコープを制御するには、起こり得る変更を明確に特定、調整、処理する必要があります。

プログラムの問題の送信

プログラムの有効期間中に、問題が発生したり、ビジネス上の意思決定が行われてプログラムの問題を追加する必要性が生じたりすることがあります。このような変更の特定、処理、意思決定には、[問題]を使用します。これらの問題を特定し、重要情報(インパクトレベル、発生の可能性)を収集し、迅速に処理するために、Program Managementの[問題]リクエストタイプを使用します。

プログラムの問題を送信するには、次の手順を実行します。

▶ プログラムの問題を送信するには、プログラムの問題を作成できる、[プログラムの問題]リクエストタイプの参加者として指定されている必要があります。これは、リクエストWorkbenchの[リクエストタイプ]ウィンドウで設定します。

1. PPM Centerにログオンします。

2. メニューバーから、[作成]>[プログラムの問題]を選択します。



必要な権限がある場合、HP Demand Managementでプログラムの問題を送信することもできます。

[新規プログラムの問題の作成] ページが開きます。

新規プログラムの問題の作成



すべて展開する | すべて折りたたむ 送信 キャンセル

ヘッダー
サマリ

問題ステータス: 未送信



作成者: Admin User

プログラム:

優先度: アサイン先:  

説明:

詳細
問題の詳細

特定日:  期日: 

問題タイプ:

詳細な説明:

提案された解決:

ビジネス機能:

メモ

保存時に追加されるメモ:

参照 送信 キャンセル

3. すべての必須フィールド（[プログラム]、[優先度]、[説明]、[特定日]）と、この問題に関連付けるオプション情報を入力します。

フィールド名	説明
[ヘッダー] セクション: [サマリ]	
プログラム	問題に関連付けられているプログラム。
優先度	問題の優先度。HP Program Managementでは、問題はアサインされている優先度の値によってグループ化されます。[優先度] フィールドに入力した値は、プログラムのヘルスの計算に使用されます。
アサイン先	この問題がアサインされているリソース。
説明	問題の説明です。
[詳細] セクション: [問題の詳細]	
特定日	問題が認識された暦日。
期日	問題解決の期限。
問題タイプ	発生中の問題のタイプ。
詳細な説明	問題の詳細な説明。
提案された解決	問題に対して提案されている解決策。
ビジネス機能	この問題による影響を受けるビジネス機能。
[メモ] セクション	
保存時に追加されるメモ	プログラムの問題について記録される追加情報
[参照] セクション: [参照の追加]	
新規参照	プログラムに追加される参照。詳細については、「 プログラム参照の追加 」(66 ページ)を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

送信したプログラムの問題リクエストが、アサインされたワークフローに自動的に沿って、解決に向けて進められます。

プロジェクトの問題の送信

プロジェクトの有効期間中に発生した障害やビジネス課題を管理するには、[プロジェクトの問題] リクエストタイプを使用します。プロジェクトの問題で、これらの課題を特定し、重要情報 (インパクトレベル、発生の可能性) を収集し、迅速に処理します。

プロジェクトの問題を送信するには、次の手順を実行します。



プロジェクトの問題を送信するには、プロジェクトの問題を作成できる、[プロジェクトの問題] リクエストタイプの参加者として指定されている必要があります。これは、リクエスト Workbench の [リクエストタイプ] ウィンドウで設定します。

1. PPM Center にログインします。

2. メニューバーから、[作成]>[プロジェクトの問題]を選択します。
[新規プロジェクトの問題の作成]ページが開きます。

新規プロジェクトの問題の作成

すべて展開する | すべて折りたたむ

送信 | キャンセル

ヘッダー

サマリ

問題ステータス: 未送信

作成者: Admin User アサイン先:  

プロジェクト: 

優先度: エスカレーションレベル:

説明:

詳細

問題の詳細

特定日:  期日: 

問題タイプ:

詳細な説明:

提案された解決:

ビジネス機能:

メモ

参照

送信 | キャンセル

3. すべての必須フィールド（[プロジェクト]、[優先度]、[エスカレーションレベル]、[説明]、[特定日]）と、この問題に関連付けるオプション情報を入力します。



HP Program Managementにプロジェクトの問題を表示するには、プロジェクトをプログラムに追加（またはプログラムをプロジェクトの問題に参照として追加）し、[プロジェクトの問題]の詳細ページの[サマリ]セクションで[エスカレーションレベル]に[プログラム]を選択します。

フィールド名	説明
[ヘッダー] セクション: [サマリ]	
アサイン先	この問題がアサインされているリソース。
プロジェクト	問題に関連付けられているプロジェクト。
優先度	問題の優先度。 このフィールドの値はプロジェクトの問題ヘルスに関連付けられています（[問題ヘルス]ポリシーで設定）。詳細については、『HP Project Management ユーザーガイド』の「プロジェクトタイプの設定」の章を参照してください。
エスカレーションレベル	問題のエスカレーションレベル。取り得る値は[プロジェクト]または[プログラム]です。プロジェクトに関連付けられているプログラムがある場合、エスカレーションレベルを[プログラム]に設定することで、プログラムレベルで問題を可視化できます。プログラムを使用していない場合、このフィールドは非表示になっていることがあります。
説明	問題の説明。
[詳細] セクション: [問題の詳細]	
特定日	問題が認識された暦日。
期日	問題解決の期限。
問題タイプ	発生中の問題のタイプ。
詳細な説明	問題の詳細な説明。

フィールド名	説明
提案された解決	問題に対して提案されている解決策。
ビジネス機能	この問題による影響を受けるビジネス機能。
[メモ] セクション	
保存時に追加されるメモ	プロジェクトの問題について記録される追加情報
[参照] セクション: [参照の追加]	
新規参照	プロジェクトに追加される参照。詳細については、 手順4 を参照してください。

4. プログラムをプロジェクトの問題に参照として追加するには、次の手順を実行します。
 - a. [新規 プロジェクトの問題 の作成] ページで、[参照] セクションを展開します。
 - b. [新規参照] リストで、[プログラム] を選択します。
 - c. [追加] をクリックします。
[参照プログラム] ウィンドウが開きます。
 - d. [プログラム] フィールドで、問題に参照として追加するプログラムを選択します。
 - e. [追加] をクリックします。

[新規 プロジェクトの問題 の作成] ページの下部で、[保存時に追加される参照] フィールドに選択したプログラムの名前が表示されます。
5. [送信] をクリックします。

送信したプロジェクトの問題リクエストが、アサインされたワークフローに沿って、解決に向けて進められます。

プログラムレベルのリスクの送信

プログラムが進行すると、そのプログラムにリンクされているリスクが大きくなる場合があります。これらのリスクを特定し、重要情報(インパクトレベル、発生の可能性)を収集し、迅速に処理するために、[プログラムリスク] リクエストタイプを使用します。

プログラムリスクを送信するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[作成]>[プログラムリスク]を選択します。

[新規 プログラムリスク の作成] ページが開きます。

新規 プログラム リスク の作成

すべて展開する | すべて折りたたむ

送信 | キャンセル

ヘッダー

サマリ

作成者: Admin User

部署: サブタイプ:

ワークフロー: リクエスト ステータス: 未送信

優先度: アプリケーション: 連絡先名:

アサイン先: アサイン先グループ: 連絡先電話番号:

リクエスト グループ: 連絡先電子メール:

説明:

プログラム参照

プログラム:

プログラム リスク

リスク インパクト レベル:

可能性:

詳細

メモ

参照

送信 | キャンセル

3. すべての必須フィールド([ワークフロー]、[説明]、[プログラム]、[リスクインパクトレベル]、[可能性])と、このリスクに関連付けるオプション情報を入力します。



[ワークフロー] フィールドの情報は自動的に入力されます。

フィールド名	説明
[ヘッダー] セクション: [サマリ]	
作成者	読み取り専用。リスクを作成したリソース。
部署	このリスクが該当する部署。
サブタイプ	リスクの詳細な分類。
ワークフロー	必須フィールド。リクエストが従う必要のあるパスを定義するプロセスをアサインします。
リクエストステータス	読み取り専用。リスクの現在のステータスのインジケータ。
優先度	リスクの優先度。
アプリケーション	このリスクが該当するアプリケーション。
連絡先名	このリスクの連絡先の氏名。
アサイン先	このリスクがアサインされているリソース。
アサイン先グループ	このリスクがアサインされているセキュリティグループ。
連絡先電話番号	読み取り専用。このリスクの連絡先の電話番号。
リクエストグループ	リスクで使用されるリクエストグループ。
連絡先電子メール	読み取り専用。このリスクの連絡先の電子メールアドレス。
説明	リスクの説明。
[ヘッダー] セクション: [プログラム参照]	
プログラム	必須フィールド。リスクに関連付けられているプログラム。

フィールド名	説明
[ヘッダー] セクション: [プログラムリスク]	
リスクインパクトレベル	必須フィールド。リスクの重要度を示す値を選択します。リスクインパクトレベルは、リスクアクティビティの分析とリスク解決時間の計算に使用されます。詳細については、「 リスクアクティビティの分析 」(91 ページ)および「 リスク解決時間の分析 」(93 ページ)を参照してください。
可能性	必須フィールド。リスク発生の予想される可能性を示す値を入力します。
[詳細] セクション	
	リスクに固有の情報があります。
[メモ] セクション	
保存時に追加されるメモ	プログラムリスクについて記録される追加情報
[参照] セクション: [参照の追加]	
新規参照	プログラムリスクに追加される参照。詳細については、 手順4 を参照してください。

4. リスクに参照を追加するには、次の手順を実行します。

- a. [参照] セクションを展開します。
- b. [新規参照] リストで、追加する参照を選択します。
- c. [追加] をクリックします。
- d. 参照を追加します。
- e. [OK] をクリックします。
- f. [参照プログラム] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

[新規 プログラムリスク の作成] ページの下部で、[保存時に追加される参照] フィールドに選択した参照の名前が表示されます。

5. [送信] をクリックします。

送信したプログラムリスクが、ワークフローに沿って解決に向けて進められます。

プロジェクトリスクの送信

プログラムが進行すると、そのプログラムにリンクされているプロジェクトのリスクが大きくなる場合があります。これらのリスクを特定し、重要情報(インパクトレベル、発生の可能性)を収集し、迅速に処理するために、[プロジェクトリスク] リクエストタイプを使用します。

プロジェクトリスクを送信するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. メニューバーから、[作成]>[プロジェクトリスク]を選択します。
[新規 プロジェクトリスク の作成] ページが開きます。



新規 プロジェクトリスクの作成


[すべて展開する](#) [すべて折りたたむ](#) 送信 キャンセル

ヘッダー

サマリ

リスク ステータス: 未送信

作成者: Admin User アサイン先:  


プロジェクト: 

優先度: リスク インパクト レベル: 可能性:

説明:

詳細

リスクの詳細

リスクタイプ: 特定日: 

詳細な説明:

クローズ基準:

アクション計画:

メモ

参照

送信 キャンセル

3. すべての必須フィールド（[プロジェクト]、[リスクインパクトレベル]、[可能性]、[説明]、[特定日]）と、このリスクに関連付けるオプション情報を入力します。



HP Program Managementでプロジェクトリスクを表示するには、プログラムに関連付けられているプロジェクト、またはプログラムそのものを、プロジェクトリスクに参照として追加する必要があります。

フィールド名	説明
[ヘッダー] セクション: [サマリ]	
アサイン先	このリスクがアサインされているリソース。
プロジェクト	リスクに関連付けられているプロジェクト。
優先度	リスクの優先度。
リスクインパクトレベル	リスクの重要度を示す値を選択します。リスクインパクトレベルは、リスクアクティビティの分析とリスク解決時間の計算に使用されます。詳細については、「リスクアクティビティの分析」(91 ページ)および「リスク解決時間の分析」(93 ページ)を参照してください。
可能性	リスク発生の予想される可能性を示す値を入力します。
説明	リスクの説明。
[詳細] セクション: [リスクの詳細]	
リスクタイプ	発生中のリスクのタイプを選択します。
特定日	リスクが認識された暦日。リスクの作成日は、リスクの解決時間の計算に使用されます。詳細については、「リスク解決時間の分析」(93 ページ)を参照してください。
詳細な説明	リスクの詳細な説明。
クローズ基準	リスクを正常にクローズするための基準。
アクション計画	リスクを処理するために提案されているアクションの計画。

フィールド名	説明
[メモ] セクション	
保存時に追加されるメモ	プロジェクトリスクについて記録される追加情報
[参照] セクション: [参照の追加]	
新規参照	プロジェクトに追加される参照。詳細については、 手順4 を参照してください。

4. プログラムをプロジェクトリスクに参照として追加するには、次の手順を実行します。
 - a. [参照] セクションを展開します。
 - b. [新規参照] リストで、[プログラム] を選択します。
 - c. [追加] をクリックします。
[参照プログラム] ウィンドウが開きます。
 - d. [プログラム] フィールドで、プロジェクトリスクに参照として追加するプログラムを選択します。
 - e. [OK] をクリックします。
 - f. [参照プログラム] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

[新規 プロジェクトリスク の作成] ページの下部で、[保存時に追加される参照] フィールドに選択したプログラムの名前が表示されます。

5. [送信] をクリックします。

送信したプロジェクトリスクが、ワークフローに沿って解決に向けて進められます。

プロジェクトのスコープ変更の送信

プログラムの有効期間中にイベントが発生した場合、プログラムのスコープを変更する必要があります。このような変更の特定、処理、実行には、Program Managementの[スコープ変更] リクエストタイプを使用します。

プロジェクトのスコープ変更を送信するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[作成]>[プロジェクトのスコープ変更]を選択します。
[新規プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成]ページが開きます。



新規プロジェクトのスコープ変更リクエストの作成


すべて展開する | すべて折りたたむ

送信 キャンセル

ヘッダー
サマリ

スコープ変更ステータス: 未送信


作成者: Admin User アサイン先:  

プロジェクト: 

優先度: *CRレベル: *ビジネスインパクトの重大度:

説明:

詳細
スコープ変更の詳細

アサイン先リリース: 実装目標日: 

詳細な説明:

提案された変更のベネフィット:

代替:

インパクトを受ける成果物のリスト:

インパクト サマリ:

財務上のインパクト: スケジュール上のインパクト(日数):

メモ
参照

送信 キャンセル

3. すべての必須フィールド（[プロジェクト]、[CRレベル]、[ビジネスインパクトの重大度]、[説明]）と、このスコープ変更に関するオプション情報を入力します。



HP Program Managementでスコープ変更リクエストを表示するには、プログラムに関連付けられているプロジェクト、またはプログラムそのものを、スコープ変更リクエストに参照として追加する必要があります。

フィールド名	説明
[ヘッダー] セクション: [サマリ]	
アサイン先	このスコープ変更がアサインされているリソース。
プロジェクト	スコープ変更に関連付けられているプロジェクト。
優先度	スコープ変更の優先度。
CRレベル	スコープ変更のインパクトまたは重要度を示す値を選択します。[レベル1]は[レベル2]より、また[レベル2]は[レベル3]より大規模なスコープ変更リクエストであることを示します。HP Program Managementでは、[レベル1]または[レベル2]がアサインされているスコープ変更リクエストのみが表示されます。
ビジネスインパクトの重大度	スコープ変更がビジネスに及ぼす影響の重大度。
説明	スコープ変更の説明。
[詳細] セクション: [スコープ変更の詳細]	
アサイン先リリース	このスコープ変更がアサインされているリリース。
実装目標日	スコープ変更を実装する期限。
詳細な説明	スコープ変更の詳細な説明。
提案された変更のベネフィット	提案されたスコープ変更によって得られるベネフィット。

フィールド名	説明
代替	スコープ変更に対して存在する代替案。
インパクトを受ける成果物のリスト	スコープ変更による影響を受ける成果物のリスト。
インパクトサマリ	スコープ変更によって受けるインパクトのサマリ。
財務上のインパクト	スコープ変更のインパクトの金額。
スケジュール上のインパクト (日数)	スコープ変更によって影響を受けるスケジュール上の日数。
[メモ] セクション	
保存時に追加されるメモ	スコープ変更について記録される追加情報
[参照] セクション: [参照の追加]	
新規参照	プロジェクトに追加される参照。詳細については、 手順4 を参照してください。

4. プログラムをスコープ変更リクエストに参照として追加するには、次の手順を実行します。

- a. [参照] セクションを展開します。
- b. [新規参照] リストで、[プログラム] を選択します。

c. [追加] をクリックします。

[参照プログラム] ウィンドウが開きます。

d. [プログラム] フィールドで、プロジェクトリスクを参照として追加するプログラムを選択します。

e. [OK] をクリックします。

f. [参照プログラム] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

[新規 プロジェクトのスコープ変更リクエスト の作成] ページの下部で、[保存時に追加される参照] フィールドに選択したプログラムの名前が表示されます。

5. [送信] をクリックします。

送信したプロジェクトのスコープ変更リクエストが、ワークフローに沿って解決に向けて進められます。

4 プログラムの表示と変更

プログラムの検索、変更、エクスポートの概要

本章では、次の項目について説明します。

- 「プログラムの検索」

検索ボックスまたは[プログラムの検索]ページを使って、プログラムを検索します。

- 「プログラムの一般情報の変更」

[プログラムの概要]ページを表示します。このページから、プログラムの統合ビューを一元的に表示できます。また、プログラムに関連付けられているエンティティにも一元的にナビゲートできます。

- 「プログラムの設定」

HP Financial Management と HP Portfolio Management を有効化し、プログラムインジケータを設定します。

- 「プログラムアクセスの設定」

機密情報やユーザによっては無用な情報へのアクセスを制御します。

- 「プログラムの優先度の更新」

利害関係者に対する可視性を維持するため、プログラムの優先度を調整します。

- 「プログラム参照の追加」
さまざまなタイプの情報を参照としてプログラムに追加します。
- 「Microsoft Excelへのプログラムのエクスポート」
[プログラムの概要] ページのすべての情報を Microsoft Excel スプレッドシートにエクスポートします。

プログラムの検索

プログラムの検索には、2つの方法があります。

- **検索ボックス**。プログラムの名前がわかっている場合や、特定の言葉やテキストが名前の先頭や途中に含まれている1つ以上のプログラムを検索する場合に使用します。検索ボックスは右上隅にあります。
- **プログラムの検索ページ**。プログラムマネージャ、プログラムのステータス、含まれているプロジェクト、作成者、ビジネス目標、優先度、作成日などの基準に基づいてプログラムを検索するには、[プログラムの検索] ページを使用します。

検索ボックスの使用

検索ボックスを使って、特定のテキストで始まるプログラム名に基づき、プログラムを検索して開くことができます。

検索ボックスを使ってプログラムを検索し、開くには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. メニューバーの右側にある検索ボックスに、「@」に続けて検索するプログラム名の先頭のテキストを入力します。テキストの入力を開始すると、サブメニューが表示されます(検索では、大文字と小文字は区別されません)。

3. 検索テキストの入力が終わったら、[プログラムの検索:<検索テキスト>]を選択します。

検索テキストが一致するプログラム名が1つのみの場合、そのプログラムの[プログラムの概要]ページが表示されます。

検索テキストに一致するプログラム名が複数ある場合は、[プログラムの検索]ページが開き、一致する名前を持つプログラムのリストが表示されます。プログラムの名前をクリックすると、[プログラムの概要]ページが開きます。

[プログラムの検索] ページの使用

[プログラムの検索] ページを使って既存のプログラムを検索し、表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[検索]>[プログラム]を選択します。
3. [プログラムの検索] ページで検索基準を入力して、[検索]をクリックします。または、すべてのプログラムのリストを表示するには、検索基準を入力せずに[検索]をクリックします。

フィールド名	説明
プログラム名 (前方一致)	文字列を指定します。検索結果には、指定した文字列が名前の先頭にあるすべてのプログラムが表示されます。
プログラムマネージャ	1人以上のユーザを指定または入力します。検索結果には、指定したユーザに管理されているすべてのプログラムが表示されます。
プログラムのステータス	1つ以上のプログラムのステータス値を指定または入力します。検索結果には、指定したステータスに一致するすべてのプログラムが表示されます。
含む	プログラムに関連付けられている1つ以上のライフサイクルエンティティ(提案、プロジェクト、資産)を指定または選択します。検索結果には、指定したライフサイクルエンティティを少なくとも1つ含む、すべてのプログラムが表示されます。

フィールド名	説明
作成者	1人以上のユーザを指定または入力します。検索結果には、指定したユーザによって作成されたすべてのプログラムが表示されます。
ビジネス目標	1つ以上のビジネス目標を指定または入力します。検索結果には、指定したビジネス目標を持つすべてのプログラムが表示されます。
Portfolio Managementが有効になっているプログラムのみ表示	HP Portfolio Managementが有効になっているプログラムを検索するには、[はい]を選択します。すべてのプログラムを検索するには、[いいえ]を選択します。
相対的優先度が次の値から / 次の値まで	優先度レベルの範囲を指定します。検索結果には、指定した優先度レベルの範囲内のプログラムが表示されます。
作成日が次の日から / 次の日まで	日付範囲を指定または入力します。検索結果には、指定した日付範囲内に作成されたすべてのプログラムが表示されます。
ソート基準	検索基準に一致するプログラムのソートの基準にするフィールドを選択します。
昇順 / 降順	ソートの順序を指定します。
1ページ当たりの表示結果数	1ページに表示する検索結果の最大数を指定します。 任意の正の整数を入力します。

[プログラムの検索] ページに、検索基準を満たすプログラムがリストされます。

4. [表示するプログラムの選択] の下の [プログラム名] カラムで、プログラム名をクリックします。

[プログラムの概要] ページにプログラムが表示されます。

プログラム: IT Hardware Upgrade

プログラムの概要 | プログラムの変更

プログラムの概要

プログラム名: IT Hardware Upgrade

プログラムのマネージャー: Adam Dubrow

プログラムのステータス: アクティブ

詳細的優先度:

プログラムのヘルプ:

スコープ:

説明:

Upgrade IT hardware

ヘルプアイコン:

Better, stronger, faster hardware

ステータスメモ:

Just starting

概要

このプログラム

「クロスしたものを追跡する」

タイプ	ヘルプ	名前	マネージャー	ステータス	達成率 (%)	スケジュールされた開始日	スケジュールされた終了日
プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/>	Training	S Austin	In Planning	100%	10/20/10	10/20/10

問題、スコープ変更、リスク

問題 (プログラムとプロジェクト) - 合計 - 2

スコープ変更: レベル 1 と 2 (プロジェクト) - 合計 - 1

リスク (プログラムとプロジェクト) - 合計 - 3

ビジネス目標

名前	ステータス	オーナー	優先度	説明
Hardware Test 1	進行中	Antonio Jerez	優先度	Start testing hardware

メモ

説明メモ

Adam Dubrow (adubrow)

2010/10/27 13:33:10 JST

Testing on schedule

参照

リクエスト

リクエスト番号	アサインされたユーザー	説明	リクエストタイプ	ステータス	達成率 (%)	リレーションシップ	リレーションシップの説明
30102	Program Issue	Program Issue	解決	0%	このプログラム (システム) 関連	情報: リクエストを登録されたプログラムに関連付けられています	
30101	Program Issue	Program Issue	解決	0%	このプログラム (システム) 関連	情報: リクエストを登録されたプログラムに関連付けられています	
30103	Program Risk	Program Risk	解決	0%	このプログラム (システム) 関連	情報: リクエストを登録されたプログラムに関連付けられています	
30103	Program Risk	Program Risk	解決	0%	このプログラム (システム) 関連	情報: リクエストを登録されたプログラムに関連付けられています	

参照の追加

検索: 検索済みのアイテムは、このプログラムをタラップに制限されています

自分自身に追加される参照:

Excel にエクスポート | 保存 | 完了 | キャンセル

プログラムの変更の概要

プログラムの有効期間中にはさまざまなことが起こり、プログラムの変更が必要になることがあります。プログラムの次の面を更新できます。

- 一般情報 ([プログラムの概要] ページ)
- ヘルスインジケータとプログラムの設定 ([プログラム設定] ページ)
- アクセス設定 (プログラムの [アクセスの設定] ページ)
- 優先度 ([プログラムの優先順位付け] ページ)

次の各項では、これらの各タスクを実行する手順について説明します。

プログラムの一般情報の変更

[プログラムの概要] ページから、アサイン、ビジネス目標、メモ、参照など、プログラムの一般情報を更新できます。

プログラムの変更または削除には、[PMO: すべてのプログラムの編集] または [PMO: プログラムの編集] のアクセス許可が必要です。アクセス許可の詳細については、『セキュリティモデルのガイドとリファレンス』を参照してください。

プログラムの一般情報を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. プログラムを検索し、選択します ([プログラムの検索] (40 ページ) を参照)。

[プログラムの概要] ページが開きます。



プログラムに加えた変更は、[プログラムの概要] ページで [保存] または [完了] をクリックするまで保存されません。

3. フィールド値に必要な変更を加えます。

フィールド名	説明
プログラム名	プログラム名 (最大255文字)。
プログラムのステータス	プログラムのステータス。
プログラムマネージャ	プログラムマネージャとしてアサインされているリソース。
プログラム全体のヘルス	プログラム全体のヘルスを評価するためにプログラムにアサインされている定性的な値 (色)。
相対的優先度	読み取り専用。アサインされている場合、組織のほかのプログラムに対する相対的な優先度。優先度をアサインする方法については、「 プログラムの優先度の更新 」(65 ページ)を参照してください。
ポートフォリオ	このプログラムで HP Portfolio Management が有効になっている場合、このプログラムが属するポートフォリオへのリンクの名前。HP Portfolio Management が有効になっていない場合、このフィールドは表示されません。
スコア	プログラムの価値を評価するための定性的な数値 (整数)。
説明	プログラムの説明。
ベネフィット	プログラムのベネフィットの説明。
ステータスメモ	プログラムのステータスについて記録する追加情報

4. 1 つ以上のライフサイクルエンティティをプログラムに関連付けるには、次の手順を実行します。

a. **[コンテンツ]** セクションで **[コンテンツの追加]** をクリックします。

[新規プログラムコンテンツの追加] ウィンドウが開きます。

b. エンティティの検索と選択には、2つの方法があります。

- **特定の項目の追加。** 特定のタイプのライフサイクルエンティティを名前で検索します。検索するライフサイクルエンティティのテキストボックスの横にあるアイコンをクリックします。

特定のエンティティの名前を選択した後、**[OK]** をクリックします。選択したエンティティがテキストボックスに表示されます。**[追加]** をクリックすると、そのエンティティがプログラムに追加されます。

- **追加するプログラムコンテンツの検索。** 指定した基準を満たすライフサイクルエンティティを検索します。

検索基準を指定した後、**[検索]** を選択します。基準を満たすライフサイクルエンティティがリストされます。ライフサイクルエンティティの横にあるチェックボックスを使って、プログラムに追加するエンティティを選択し、**[追加]** をクリックします。

リストされるのは、自分が参加しているプロジェクトのみです。**[すべてのプロジェクトの表示]** のアクセス許可を持っている場合は、すべてのプロジェクトがリストされます。

現在のプログラムで HP Portfolio Management が有効になっている場合、リストされているのは、別のポートフォリオに属さない、または HP Portfolio Management が有効になっているプログラムに属さないライフサイクルエンティティのみです。つまり、ライフサイクルエンティティが別のポートフォリオや HP Portfolio Management が有効になっているプログラムに属している場合、現在のプログラムへの追加はできません。

現在のプログラムで HP Portfolio Management が有効になっていない場合、すべてのライフサイクルエンティティがリストされます。

リストされるのは、アクティブなライフサイクルエンティティのみです。

ライフサイクルエンティティをポートフォリオや HP Portfolio Management が有効になっているプログラムに追加しても、そのポートフォリオまたはプログラムを保存していない場合、そのポートフォリオまたはプログラムを保存するまで、ライフサイクルエンティティは引き続きリストされます。



[コンテンツ] セクションに、選択したライフサイクルエンティティがリストされます。

▶ 個々のライフサイクルエンティティを表示 (つまり、提案、プロジェクト、資産を表示) しているとき、[関連付けられたプログラム] フィールドには、そのエンティティが関連付けられているプログラムがリストされます。表示されているのは、自分が [プログラムの表示]、[プログラムの編集]、[すべてのプログラムの編集] のアクセス許可を持っているプログラムのみです。

プロジェクトの作成方法については、『HP Project Management ユーザーガイド』を参照してください。提案および資産の作成方法については、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。

- c. [保存] をクリックします。プログラムを保存せずに終了すると、追加したコンテンツはプログラムに保存されません。

プログラムに追加しただけで保存しなかったコンテンツは、オレンジ色で強調表示されたイタリックテキストで示されます。

- 5. [コンテンツ] セクションでプログラムのクローズ済みコンテンツ (ステータスが [クローズ済み]、[完了済み]、[キャンセル済み] になっているコンテンツ) を表示するには、[クローズしたものを含める] チェックボックスを選択します。デフォルトでは、クローズ済みコンテンツは [コンテンツ] セクションには表示されません。

▶ [コンテンツ] セクションには、プログラムに追加した (ただし保存はしていない) コンテンツが表示されます。クローズ済みコンテンツを追加し、[クローズしたものを含める] チェックボックスを選択しない場合、クローズ済みコンテンツはプログラムを保存または終了するまで [コンテンツ] セクションに表示されません。

- 6. プログラムにビジネス目標を関連付けるには、次の手順を実行します。
 - a. [ビジネス目標] セクションで [ビジネス目標の追加] をクリックします。
選択ウィンドウが開き、ビジネス目標のリストが表示されます。
 - b. プログラムに関連付けるビジネス目標の名前をクリックします。
選択ウィンドウが閉じ、[ビジネス目標] セクションに選択した目標がリストされます。
 - c. プログラムにさらにビジネス目標を追加するには、手順 6 を繰り返します。

ビジネス目標の作成方法については、「[ビジネス目標の作成](#)」(17 ページ)を参照してください。

7. プログラムにメモを追加するには、次の手順を実行します。
 - a. **[メモ]** セクションで **[メモの追加]** をクリックします。
[プログラムへのメモの追加] ウィンドウが開きます。
 - b. テキストフィールド内をクリックします。
 - c. メモの内容を入力し、**[追加]** をクリックします。
[メモ] セクションで、ユーザ名の横にメモとメモの作成日時が表示されます。
8. プログラムに参照を追加するには、次の手順を実行します。
 - a. **[参照]** セクションの **[新規参照]** リストで、プログラムに追加する参照のタイプを選択します。
 - b. **[追加]** をクリックします。
次に開く選択ウィンドウは、**[新規参照]** リストで選択した参照タイプによって異なります。参照タイプと対応する選択ウィンドウの一覧については、「[プログラム参照の追加](#)」(66 ページ)を参照してください。
[保存時に追加される参照] セクションに、選択した参照がリストされます。
 - c. リストされている参照をプログラムに添付するには、**[保存]** をクリックします。
 - d. プログラムから参照を削除するには、参照の名前を選択して **[削除]** をクリックします。
9. プログラムへの変更を保存するには、**[保存]** または **[完了]** をクリックします。

プログラムからのライフサイクルエンティティ、ビジネス目標、参照の削除

[プログラムの概要] ページから、コンテンツ (ライフサイクルエンティティ)、ビジネス目標、参照など、プログラムの一般情報を削除できます。

プログラムからライフサイクルエンティティ、ビジネス目標、参照を削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. プログラムを検索し、選択します (**「プログラムの検索」**(40 ページ) を参照)。

[プログラムの概要] ページが開きます。



プログラムに加えた変更は、[プログラムの概要] ページで **[保存]** または **[完了]** をクリックするまで保存されません。

3. 1つ以上のライフサイクルエンティティをプログラムから削除するには、次の手順を実行します。
 - a. **[コンテンツ]** セクションで、1つ以上のライフサイクルエンティティを選択します (複数のエンティティを選択するには、**[Shift]** を押しながら**クリック**、または **[Ctrl]** を押しながら**クリック** します)。
 - b. **[コンテンツの削除]** をクリックします。
4. ビジネス目標を削除するには、次の手順を実行します。
 - a. 削除するビジネス目標の横にある **[削除]** アイコンをクリックします。
5. 参照を削除するには、次の手順を実行します。
 - a. 削除する参照の横にある **[詳細]** をクリックします。
 - b. **[削除]** をクリックします。

プログラムの削除

プログラムを削除するには、[プログラムの概要] ページを使用します。プログラムのライフサイクルエンティティ、関連付けられているスコープ変更、リスク、問題は削除されません。



プログラムを削除するためには、そのプログラムのプログラムマネージャとしてアサインされ、[PMO: プログラムの編集] または [PMO: すべてのプログラムの編集] のアクセス許可を持っている必要があります。

プログラムを削除するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. プログラムを検索し、選択します ([プログラムの検索] (40 ページ) を参照)。
[プログラムの概要] ページが開きます。
3. ページの下部で [削除] をクリックします。

プログラムの設定

すべてのプログラムには設定があり、プログラムマネージャは個々プログラムを目的に合わせて設定できます。

プログラム設定を表示または編集するには、[プログラムの概要] ページで [プログラム設定] をクリックします。

HP Financial Management

HP Financial Management には、計画関連のコストデータをトラッキングする機能があります。プログラムに含まれているライフサイクルエンティティの財務情報を表示できるのは、そのエンティティが財務情報をトラッキングできるように設定されており、そのプログラムに対して HP Financial Management を有効にしている場合です。

財務情報には、全体のアクティブなベースラインコスト、予測コスト、実績コストが含まれます。人件費と非人件費、資本支出と事業費に基づく内訳も表示されます。プロジェクト計画の実行中のコストデータを取得し、このコ

ストデータをプロジェクトまたはプログラムの財務サマリに記録されている財務データと比較できます。

HP Financial Managementが有効になっている場合、[プログラムの概要] ページには[プログラムコスト] セクションと [EV分析] タブが表示されます。[プログラムコスト] セクションには、提案、プロジェクト、資産の財務データのサマリが表示され、プログラムのコストをトラッキングできるようになっています。[EV分析] タブでは、SPIやCPIなどのコストデータをプログラム内のプロジェクト全体で比較できます。コストデータおよび公式の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

[プログラムコスト] セクションでは、リンクを選択してプログラムの財務サマリを表示することもできます。財務サマリには、プログラムに含まれているすべての提案、プロジェクト、資産の財務情報の概要が表示され、Microsoft Excel にデータをエクスポートできます。詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。



プログラムの財務サマリで表示されるカテゴリは、資本計上トラッキングを有効にしているかどうかによって異なります。

HP Portfolio Management

プログラムに対して HP Portfolio Management を有効にしている場合、ポートフォリオにプログラムを追加できます。現在、プログラムがポートフォリオに関連付けられている場合、そのプログラムに対して HP Portfolio Management を無効にすることはできません。

ポートフォリオにプログラムを追加するには、次の要件を満たしている必要があります。

- Portfolio Managementのライセンスを持っていること
- プログラムに対して HP Portfolio Managementが有効になっていること
- HP Portfolio Managementが有効になっているプログラムを追加できるポートフォリオは1つのみです。たとえば、Program1をPortfolio1に追加した場合、ほかのポートフォリオにはProgram1を追加できません。
- プログラムのコンテンツ(提案、プロジェクト、資産)を追加できるのは、HP Portfolio Managementが有効になっているポートフォリオまたはプログラム1つのみです。たとえば、Program1でHP Portfolio Managementが有効になっており、Project1をProgram1に追加した場合、Project1をPortfolio1に

追加することはできません。同様に、Proposal1をPortfolio1に追加した場合は、Proposal1をProgram1に追加することはできません。

詳細については、『HP Portfolio Management ユーザーガイド』を参照してください。

プログラムインジケータの設定

プログラムインジケータにより、プログラムの問題、スコープ変更、リスクのステータスをすぐに把握できます。これらのインジケータは、[プログラムの概要] ページのプログラムリストポートレットで色分けされたアイコンとして表示されます。

HP Program Management で表示できる各リクエストタイプには、それぞれヘルスインジケータがあります。これは、ほかのインジケータと無関係に設定することが可能です。これらのインジケータを設定するには、[プログラム設定] ページの [**ヘルスインジケータ**] セクションを使用します。次の各項では、これらのヘルスインジケータについて説明します。

プロジェクトおよびプログラムの問題

問題により、プロジェクトおよびプログラム関連のすべての問題を特定および解決するためのフレームワークが提供されます。解決プロセスをより詳細に示すため、問題が複数のリクエストタイプにまたがっていることもあります。

問題がプログラムに対して直接記録されている場合は、プログラムそのものに問題があることを示しています。たとえば、企業の方向が変更された場合、プログラムの目標を再評価する必要が生じることがあります。



プロジェクトについて送信された問題は、必要に応じてプログラムレベルにエスカレーションされます。プログラムレベルにエスカレーションされていないプロジェクトの問題は、HP Program Management では表示されません。

プログラムにリンクされているプロジェクトについて記録された問題をプロジェクトマネージャが解決できない場合、その問題をプログラムレベルで可視化する必要があります。たとえば、問題を解決するために、複数のプロジェクト間での連携が必要なことがあります。



HP Program Management では、問題のトラッキングがデフォルトで有効になっています。問題のトラッキングを無効にするには、[プログラム設定] ページの [**プログラムの問題**] サブセクションで、[このプログラムの問題をトラッキング] オプションの横にある [いいえ] を選択し、[保存] をクリックします。

問題のヘルスは、優先度がアサインされている問題の数に基づいています。プログラムの問題のヘルスの計算で考慮されるのは、そのプログラムについて直接記録されたオープンされている問題か、そのプログラム内のアクティブなプロジェクトのプログラムレベルにエスカレーションされたオープンされている問題のみです(プロジェクトがクローズされて資産になった場合、そのプロジェクトからプログラムレベルにエスカレーションされた問題はHP Program Managementで引き続き表示され、プログラムの問題のヘルスの計算に使用されます)。プログラムマネージャは、異なる優先度がアサインされた問題にさまざまな重みをアサインできます。また、ヘルスのステータスレベル(黄色および赤色のインジケータ)にしきい値をアサインすることもできます。

たとえば、次のように、プログラムの問題の優先度に重みをアサインします。

- 重大: 8
- 高: 5
- 通常: 3
- 低: 1

プログラムの問題の数は次のとおりとします。

- 優先度「高」の問題3件
- 優先度「通常」の問題2件
- 優先度「低」の問題6件

これらのプログラムの問題に対して計算される全体のヘルス値は、 $(3 \times 5 + 2 \times 3 + 6 \times 1) = 27$ です。

黄色のヘルスインジケータのしきい値が20で、赤色のヘルスインジケータのしきい値が40の場合、このプログラムの問題には黄色のヘルスインジケータが表示されます。



[優先度] リストに表示される値(名前、表示数)は、検証Workbenchから変更できます(検証Workbenchにアクセスするには、PPM Workbenchを開き、ショートカットメニューで[構成] > [検証]を選択します)。

インジケータのデフォルトのしきい値は次のとおりです。

- 赤色: 40
- 黄色: 20
- 緑色: 20未満のすべての値

プログラムの問題の優先度のアサインされるデフォルトの重みは次のとおりです。

- 重大: 5
- 高: 3
- 通常: 1
- 低: 0

プログラムリスク

リスクにより、プログラムの成功を脅かす脅威を記録および解決できます。起こり得るリスクに関する情報(インパクト、発生の可能性など)を収集するプロセスは合理化されています。

プログラム内のプロジェクトについて記録されたリスクは、連携して対応できるように、プログラムレベルで可視化される必要があります。多くの組織では、プログラムマネージャは発生する可能性の高いリスクのみに対応します。



HP Program Managementでは、リスクのトラッキングがデフォルトで有効になっています。リスクのトラッキングを無効にするには、[プログラム設定] ページの [プログラムリスク] サブセクションで、[このプログラムのリスクをトラッキング] オプションの横にある [いいえ] を選択し、[保存] をクリックします。

プログラムリスクのヘルスは、特定のリスクレベルおよび可能性に分類されたリスクの数に基づいています。プログラムリスクのヘルスの計算には、プログラムについて直接記録されたリスクと、プログラムに含まれるプロジェクトについて記録されたリスクが使用されます。

プログラムマネージャは、異なるインパクトレベルおよび可能性がアサインされたリスクにさまざまな重みをアサインできます。また、黄色と赤色のヘルスインジケータのしきい値も設定できます。

たとえば、リスクのインパクトおよび可能性に次の重みをアサインしたとします。

- インパクトレベル1: 7
- インパクトレベル2: 5
- インパクトレベル3: 3
- 可能性「高」: 3
- 可能性「中」: 2
- 可能性「低」: 1

プログラムについて、次のように3つのリスクが記録されています。

- リスク1: インパクトレベル=1、可能性=高
- リスク2: インパクトレベル=2、可能性=低
- リスク3: インパクトレベル=3、可能性=高

インパクトレベルおよび可能性に重みを掛けることで、各リスクによる全体のヘルスへの影響が計算されます。この場合、計算されるリスクのヘルス値は $(7 \times 3 + 5 \times 1 + 3 \times 3) = 35$ です。黄色のヘルスのしきい値が20で、赤色のヘルスのしきい値が30の場合、このプログラムのリスクのヘルスには赤色のヘルスインジケータが表示されます。

インジケータのデフォルトのしきい値は次のとおりです。

- 赤色: 40
- 黄色: 20
- 緑色: 20未満のすべての値

リスクのインパクトおよび可能性にアサインされるデフォルトの重みは次のとおりです。

- インパクトレベル1: 5
- インパクトレベル2: 3
- インパクトレベル3: 1

- 可能性「高」:5
- 可能性「中」:3
- 可能性「低」:1

プログラムのスコープ変更

スコープの変更により、プログラムおよび個々のプロジェクトのスコープを管理できる状態を維持できます。プログラム内のプロジェクトについて記録されたスコープ変更が大規模な場合や、その他の理由で特に注意が必要な場合、プログラムレベルで可視化される必要があります。

送信したスコープ変更リクエストは評価された後、却下されるか、プログラムまたはプロジェクトのスコープに組み込まれます。プログラムおよびプロジェクトのスコープを制御するには、潜在的な変更を明確に特定、調整、処理する必要があります。



HP Program Managementでは、スコープ変更リクエストのトラッキングがデフォルトで有効になっています。スコープ変更リクエストのトラッキングを無効にするには、[プログラム設定] ページの [プログラムのスコープ変更] サブセクションで、[このプログラムのスコープ変更をトラッキング] オプションの横にある [いいえ] を選択し、[保存] をクリックします。

スコープ変更のヘルスは、特定の重要度に分類されるスコープ変更の数に基づいています。スコープ変更のヘルスの計算には、プログラム内のプロジェクトについて記録されたオープンされているスコープ変更のみが使用されます。

プログラムマネージャは、異なる重要度を持つスコープ変更にさまざまな重みをアサインできます。また、黄色と赤色のヘルスインジケータのしきい値も設定できます。

たとえば、プログラムのスコープ変更の重要度に次の重みをアサインしたとします。

- 重大:8
- 高:5
- 中:3
- 低:1

また、プログラムに次のスコープ変更が発生したとします。

- 「重大」のスコープ変更3件
- 「中」のスコープ変更2件
- 「低」のスコープ変更6件

問題に対して計算される全体のヘルス値は、 $(3 \times 8 + 2 \times 3 + 6 \times 1) = 36$ です。黄色のヘルスインジケータのしきい値が20に、赤色のヘルスインジケータのしきい値が40に設定されている場合、プログラムのスコープ変更には黄色のインジケータが表示されます。

プログラムのスコープ変更のヘルスインジケータのデフォルトのしきい値は次のとおりです。

- 赤色: 40
- 黄色: 20
- 緑色: 20未満のすべての値

プログラムのスコープ変更の重要度のアサインされるデフォルトの重みは次のとおりです。

- 重大: 5
- 高: 3
- 中: 1
- 低: 0



問題、リスク、スコープ変更は、プロジェクトマネジメント協会が発行している『プロジェクトマネジメント知識体系ガイド』に従ってモデル化されています。

プログラム設定の変更

プログラムのインジケータ設定を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. インジケータ設定を変更するプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40 ページ)を参照してください。

[プログラムの概要] ページに、選択したプログラムの詳細が表示されます。

3. [プログラム設定] をクリックします。

[プログラム設定] ページが開きます。

保存 完了 キャンセル

Financial Management 設定

Financial Management を有効にすると、このプログラムの財務情報を表示できます。

このプログラムの Financial Management を有効にする

Portfolio Management 設定

Portfolio Management を有効にすると、このプログラムをコンテンツとしてポर्टフォリオに追加できます。

このプログラムの Portfolio Management を有効にする

ヘルス インジケータ 既定値に戻す

プログラムの問題

このプログラムの問題をトラッキング はい いいえ

プログラムの問題ヘルスは、プログラムの問題すべての重みを加算することで決定されます。以下に、問題の重みを優先度を基に指定できます。

優先度	重み
低	<input type="text" value="0"/>
通常	<input type="text" value="1"/>
高	<input type="text" value="3"/>
重大	<input type="text" value="5"/>

ヘルス

このプログラムの問題ヘルスが ■ となるのは、オープンされているすべての問題の重み合計が次の値以上の場合:

このプログラムの問題ヘルスが ■ となるのは、オープンされているすべての問題の重み合計が次の値以上の場合:

プログラム リスク

このプログラムのリスクをトラッキング はい いいえ

プログラムのリスクヘルスは、プログラムのリスクすべての重みを加算することで決定されます。以下に、リスクの重みをインパクトと可能性を基に指定できます。

インパクト	重み	可能性	重み
レベル 1	<input type="text" value="5"/>	高 [26-100%]	<input type="text" value="5"/>
レベル 2	<input type="text" value="3"/>	中 [11-25%]	<input type="text" value="3"/>
レベル 3	<input type="text" value="1"/>	低 [0-10%]	<input type="text" value="1"/>

ヘルス

このプログラムのリスクヘルスが ■ となるのは、オープンされているすべてのリスクの重み合計が次の値以上の場合:

このプログラムのリスクヘルスが ■ となるのは、オープンされているすべてのリスクの重み合計が次の値以上の場合:

プログラムのスコープ変更

このプログラムのスコープ変更をトラッキング はい いいえ

プログラムのスコープ変更ヘルスは、プログラムのスコープ変更すべての重みを加算することで決定されます。以下に、スコープ変更の重みを重要度を基に指定できます。

重要度	重み
重大	<input type="text" value="5"/>
高	<input type="text" value="3"/>
中	<input type="text" value="1"/>
低	<input type="text" value="0"/>

ヘルス

このプログラムのスコープ変更ヘルスが ■ となるのは、オープンされているすべてのスコープ変更の重み合計が次の値以上の場合:

このプログラムのスコープ変更ヘルスが ■ となるのは、オープンされているすべてのスコープ変更の重み合計が次の値以上の場合:

保存 完了 キャンセル

4. このプログラムに対してHP Financial Managementを有効にするには、**[Financial Management設定]**の下で**[このプログラムのFinancial Managementを有効にする]**チェックボックスを選択します。
5. このプログラムに対してHP Portfolio Managementを有効にするには、**[Portfolio Management設定]**の下で**[このプログラムのPortfolio Managementを有効にする]**チェックボックスを選択します。HP Portfolio Managementを有効にすることで、プログラムをコンテンツとしてポートフォリオに追加できるようになります。



プログラムをコンテンツとしてポートフォリオに追加した場合、このチェックボックスは選択した状態のままにする必要があります。このチェックボックスの選択を解除すると、プログラム設定を保存できません。

6. プログラムの問題のヘルスは、オープンされているすべてのプログラムの問題の重みを合計することで決定されます。優先度に基づき、問題に相対的な重みをアサインできます。

プログラムの問題のヘルスインジケータを有効化して設定するには、**[プログラムの問題]**セクションで次の手順を実行します。

- a. プログラムの問題をトラッキングするには、**[このプログラムの問題をトラッキング]**で**[はい]**が選択された状態のままにします。
- b. プログラムの優先度に対する重みの値を変更するには、**[重み]**フィールドにそれぞれの優先度に対する新しい重みの値を入力します。デフォルト値は次のとおりです。
 - 低=0
 - 通常=1
 - 高=3
 - 重大=5

プログラムのヘルスを計算するため、オープンされているすべてのプログラムの問題の重みが合計されます。問題の数と重大度が要注意レベルに達したときに、警告(黄色)および重大(赤色)のインジケータを表示するためのしきい値を設定できます。

- c. プログラムの問題の警告のしきい値を変更するには、**[ヘルス]**の下にある黄色のインジケータの横に新しい値を入力します(デフォルト値は20)。

d. プログラムの問題の重大のしきい値を変更するには、[ヘルス]の下にある赤色のインジケータの横に新しい値を入力します(デフォルト値は40)。

7. プログラムリスクのヘルスは、オープンされているすべてのプログラムリスクの重みを合計することで決定されます。インパクトと可能性に基づき、リスクに相対的な重みをアサインできます。

プログラムリスクのヘルスインジケータを設定するには、[プログラムリスク]セクションで次の手順を実行します。

a. プログラムリスクをトラッキングするには、[このプログラムのリスクをトラッキング]で[はい]が選択された状態のままにします。

b. インパクトレベルに対する重みの値を変更するには、それぞれのインパクトレベルに新しい数値を入力します。インパクトレベルのデフォルト値は次のとおりです。

- レベル1 = 5
- レベル2 = 3
- レベル3 = 1

c. 可能性の値にに対する重みの値を変更するには、それぞれの可能性に新しい数値を入力します。可能性の値のデフォルト値は次のとおりです。

- 高 [26-100%] = 5
- 中 [11-25%] = 3
- 低 [0-10%] = 1

d. プログラムリスクの警告の値(黄色)を変更するには、[ヘルス]の下で新しい値を入力します(デフォルト値は20)。

e. プログラムリスクの重大の値(赤色)を変更するには、[ヘルス]の下で新しい値を入力します(デフォルト値は40)。

8. プログラムのスコープ変更のヘルスは、オープンされているすべてのプログラムのスコープ変更の重みを合計することで決定されます。異なる重要度を持つスコープ変更にさまざまな重みをアサインできます。

プログラムのスコープ変更のヘルスインジケータを有効化して設定するには、[**プログラムのスコープ変更**] セクションで次の手順を実行します。

- a. プログラムのスコープ変更をトラッキングするには、[**このプログラムのスコープ変更をトラッキング**] で [**はい**] が選択された状態のままにします。
 - b. スコープ変更の重要度に対する重みの値を変更するには、それぞれの重要度に新しい数値を入力します。デフォルト値は次のとおりです。
 - 重大=5
 - 高=3
 - 通常=1
 - 低=0
 - c. プログラムのスコープ変更の警告の値 (黄色) を変更するには、新しい値を入力します (デフォルト値は20)。
 - d. プログラムのスコープ変更の重大の値 (赤色) を変更するには、新しい値を入力します (デフォルト値は40)。
9. インジケータ設定への変更を保存し、[プロジェクト設定] ページを閉じるには、[**完了**] をクリックします。

プログラムアクセスの設定

組織では通常、一部の内部情報やビジネスプロセスへのアクセスを制御しています。これは、給与などの機密情報を保護すること、またはユーザーによっては無用なデータを隠すことでビジネスプロセスをシンプルにすることを目的としています。HP Program Management のデータアクセスには、2つのレベルがあります。

- プログラムアクセス
- コストアクセス

プログラムアクセスおよびコストアクセスの設定は、[アクセスの設定] ページでプログラムごとに行います。

プログラムへのアクセスを編集または更新するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログインします。
2. プログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40 ページ)を参照してください。

[プログラムの概要] ページに、プログラム情報が表示されます。

3. ページの上部にある [アクセスの設定] をクリックします。
[アクセスの設定] ページが開きます。

IT Hardware Upgrade のアクセスの設定 保存 完了 キャンセル

プログラム アクセス

Adam Dubrow, このプログラムのプログラム マネージャの他に、表示アクセス権限を付与する対象:

なし
 このプログラム内のすべてのコンテンツ マネージャ
 その他のすべてのプログラム マネージャ
 その他のすべてのプログラム マネージャ、およびこのプログラム内のコンテンツ マネージャ
 これらのセキュリティグループのみ:

セキュリティグループ

セキュリティグループの追加

注記: このプログラムを削除できるのは、このプログラムのプログラム マネージャだけです。

コストとベネフィット アクセス

Adam Dubrow, このプログラムのプログラム マネージャの他に、表示アクセス権限を付与する対象:

なし
 このプログラム内のすべてのコンテンツ マネージャ
 その他のすべてのプログラム マネージャ
 その他のすべてのプログラム マネージャ、およびこのプログラム内のコンテンツ マネージャ
 これらのセキュリティグループのみ:

セキュリティグループ

セキュリティグループの追加

保存 完了 キャンセル

4. **[プログラムアクセス]** セクションで、プログラムへのアクセスを付与する対象として次のいずれかを選択します。

- なし
- このプログラム内のすべてのコンテンツマネージャ
- その他のすべてのプログラムマネージャ
- すべてのプログラムマネージャ、およびこのプログラム内のコンテンツマネージャ
- これらのセキュリティグループのみ:

実質的には、プログラムマネージャは**[プログラムの編集]** (または**[すべてのプログラムの編集]**) のアクセス許可を持っている任意のユーザです。ユーザがプログラムマネージャにアサインされていても、必要なアクセス許可を持っていなければ、プログラムを管理することはできません。

[プログラムアクセス] セクションで**[なし]** が選択されていても、**[すべてのプログラムの編集]** のアクセス許可を持っているユーザはプログラムへのフルアクセス権を既に持っています。

5. **[これらのセキュリティグループのみ]** を選択した場合、次の手順を実行します。

- a. **[セキュリティグループ]** の下で、**[セキュリティグループの追加]** をクリックします。

選択ウィンドウが開きます。

- b. セキュリティグループを選択するには、セキュリティグループの名前を選択します。

選択ウィンドウが閉じ、**[セキュリティグループ]** セクションに選択したセキュリティグループの名前がリストされます。

[アクセスの設定] ページからリストされているセキュリティグループを削除するには、名前の左側にある**[削除]** アイコンをクリックします。

別のセキュリティグループを追加するには、**[セキュリティグループの追加]** を再度クリックします。

6. **〔コストとベネフィットアクセス〕** セクションは、そのプログラムに対して HP Financial Management が有効になっている場合に使用します。プログラムのコストデータに表示アクセス権をアサインするには、次のいずれかを選択します。

- なし
- このプログラム内のすべてのコンテンツマネージャ
- その他のすべてのプログラムマネージャ
- すべてのプログラムマネージャ、およびこのプログラム内のプロジェクトマネージャ
- これらのセキュリティグループのみ



デフォルトでは、プログラムマネージャはプログラムへのフルアクセス権を持っています。

7. **〔これらのセキュリティグループのみ〕** を選択した場合、次の手順を実行します。

a. **〔セキュリティグループ〕** の下で、**〔セキュリティグループの追加〕** をクリックします。

選択ウィンドウが開きます。

b. セキュリティグループを選択するには、セキュリティグループの名前を選択します。

選択ウィンドウが閉じ、**〔セキュリティグループ〕** セクションに選択したセキュリティグループの名前がリストされます。



〔アクセスの設定〕 ページからリストされているセキュリティグループを削除するには、名前の左側にある **〔削除〕** アイコンをクリックします。

別のセキュリティグループを追加するには、**〔セキュリティグループの追加〕** を再度クリックします。

8. 更新内容を保存し、**〔アクセスの設定〕** ページを閉じるには、**〔完了〕** をクリックします。

プログラムの優先度の更新

時間が経って、ビジネス目標の中で達成したものと未達成のものができたら、組織で進行中のプログラムの優先度を変更できます。優先度を変更することで、利害関係者は最も重大な問題について高い可視性を維持できます。

組織のほかのプログラムに対する相対的な優先度を変更するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く] > [Program Management] > [プログラムの優先順位付け] を選択します。

[プログラムの優先順位付け] ページが開き、既存のプログラムがリストされます。プログラムに優先度の値がアサインされている場合、このページには優先度の降順でプログラムがリストされます。

プログラムの優先順位付け

プログラム名	相対的優先度	プログラム マネージャ	プログラムのステータス	ビジネス目標	説明
End of Year Push	<input type="text" value="1"/>	Adam Dubrow	新規	Increase Sales 2.5%	end of year push
dbranchen testing	<input type="text" value="2"/>	dave lranchen	新規		
sm	<input type="text" value="2"/>		新規		
IT Hardware Upgrade	<input type="text" value="3"/>	Adam Dubrow	アクティブ	Hardware Test 1	Upgrade IT hardware

3. プログラム名の右側にある [相対的優先度] フィールドに、新しい優先度レベルを示す整数を入力します。
4. 必要な場合、リストされているほかのプログラムの相対的優先度の値を変更します。
5. [保存] をクリックします。

プログラム参照の追加

本項では、プログラムに追加できる参照のタイプについて説明します。添付ファイル、既存パッケージ、新規パッケージ、プロジェクト、既存リクエスト、新規リクエスト、タスク、URLなどがあります。

参照としての添付ファイル

プログラム参照として、添付ファイルを指定できます。

添付ファイルを参照するには、次の手順を実行します。

1. プログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40 ページ)を参照してください。

2. **[参照]** セクションまでスクロールします。
3. **[新規参照]** リストで **[添付ファイル]** (デフォルト) を選択したまま、**[追加]** をクリックします。

[ドキュメントの追加] ウィンドウが開きます。

ドキュメントの追加

ファイル:

参照...

作者: Admin User

説明:

追加 キャンセル

4. **[ファイル]** フィールドに、参照として追加するファイルの完全なパスを入力します。



添付ファイルはワークステーションからアクセス可能である必要があります。

5. **[作者]** フィールドに、添付ファイルの作者名を入力します。

6. **[説明]** フィールドに、添付ファイルに関する情報と参照する理由を入力します。
7. **[追加]** をクリックします。
指定したファイルがアップロードされます。[プログラムの概要] ページの **[参照]** セクションで、**[保存時に追加される参照]** フィールドにファイル名が表示されます。
8. **[保存]** をクリックします。

参照としての既存パッケージ

プログラムに既存のパッケージを参照させることができます。

既存のパッケージを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboard からプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40 ページ) を参照してください。

2. **[参照]** セクションまでスクロールします。
3. **[新規参照]** リストで、**[パッケージ (既存)]** を選択します。
4. **[追加]** をクリックします。

[参照の追加: パッケージ] ウィンドウが開きます。

5. 検索基準を指定し、**[検索]**をクリックします。

参照の追加: パッケージ

選択したパッケージのプログラム番号 30060 に対するリレーションシップを選択:
このプログラム関連 - (情報) - 選択したパッケージはプログラム 30060 に関連付けられています

パッケージ 検索結果							1 - 6 / 6 を表示
パッケージ番号 ▾	ワークフロー	ステータス	優先度	アサイン先	パッケージ行	説明	
<input type="checkbox"/> 30021	Test Alpha > Test Beta	新規	通常	jasmith		30019 のコピー	
<input type="checkbox"/> 30020	Test Alpha > Test Beta	新規	通常	jasmith		30019 のコピー	
<input type="checkbox"/> 30019	Test Alpha > Test Beta	新規	通常	jasmith		Upgrade to patch 4.5.4.7	
<input type="checkbox"/> 30018	Test Alpha > Test Beta	新規	通常	jasmith		ERP Patch v4.5.4.7 Migration Test	
<input type="checkbox"/> 30017	Test Alpha > Test Beta	新規	低	jasmith		30015 のコピー	
<input type="checkbox"/> 30015	Test Alpha > Test Beta	新規	低	jasmith		Test package.	

すべてチェック すべてクリア

1 - 6 / 6 を表示

追加 検索の変更 キャンセル

[参照の追加: パッケージ] ウィンドウに、検索基準に一致するリレーションシップタイプとパッケージがリストされます。

6. リレーションシップタイプとパッケージを選択し、**[追加]**をクリックします。

[保存時に追加される参照] セクションに、選択したパッケージがリストされます。

7. **[保存]**をクリックします。

参照としての新規パッケージ

新規のパッケージをプログラム参照として追加できます。

新規パッケージを参照するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。



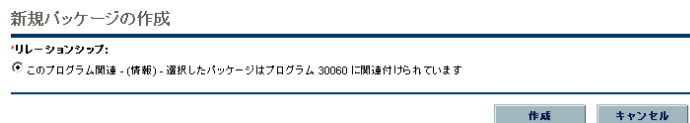
プログラムを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40 ページ)を参照してください。

2. **[参照]** セクションまでスクロールします。

3. **[新規参照]** リストで、**[パッケージ (新規)]** を選択します。

4. **[追加]** をクリックします。

[新規パッケージの作成] ウィンドウが開きます。



5. リレーションシップを選択し、**[作成]** をクリックします。

[Newパッケージ] ウィンドウが開きます。

6. パッケージ情報を入力し、**[追加]** をクリックします。

[**保存時に追加される参照**] セクションに、新規パッケージがリストされます。パッケージの詳細については、『HP Deployment Management ユーザーガイド』を参照してください。

7. プログラムにパッケージを添付するため、**[保存]** をクリックします。

参照としてのプロジェクト

既存のプロジェクトをプログラム参照として添付するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboard からプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40 ページ)を参照してください。

2. **[参照]** セクションまでスクロールします。
3. **[新規参照]** リストで、**[プロジェクト]** を選択します。

4. [追加] をクリックします。

[参照の追加: プロジェクト] ウィンドウが開きます。

参照の追加: プロジェクト

表示するプロジェクトの検索

プロジェクト名 (含む): プロジェクト マネージャ:

プロジェクト タイプ:

計画開始日が次の日から: 次の日まで:

計画終了日が次の日から: 次の日まで:

終了したプロジェクトを含める: はい いいえ

ヘルス: なし

関連付けられたプログラム:

地域:

ソート基準: 昇順 降順 *1 ページ当たりの表示結果数:

5. 検索基準を指定し、[検索] をクリックします。

参照の追加: プロジェクト

* 選択したプロジェクトの null 番号 30060 に対するリレーションシップを選択:
 このプログラム関連 - (詳細) - 選択したプロジェクトはプログラム 30060 に関連付けられています

表示するプロジェクトの選択 1 - 4 / 4 を表示

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	プロジェクト名 ▲	ステータス	プロジェクト マネージャ	プロジェクト番号	地域	プロジェクトタイプ	プロジェクトの開始 (開始)	プロジェクトの終了 (閉鎖)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Analysis	アクティブ	Admin User	30129	MercuryJP	Large Capital Projects	9月 2010	12月 2010
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Developer Tools Improvements	計画中	Admin User	30144	MercuryJP	Large Capital Projects	9月 2010	12月 2010
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Training	計画中	S Austin	30159	MercuryJP	Large Capital Projects	9月 2010	12月 2010
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Project 1002	計画中	Admin User	30193	MercuryJP	Small Project	10月 2010	12月 2010
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	すべてを選択							

1 - 4 / 4 を表示

6. プロジェクト参照として追加するプロジェクトを見つけて選択します。

7. [追加] をクリックします。

8. [保存時に追加される参照] セクションに、選択したプログラムがリストされます。

9. プログラムにプロジェクトを添付するため、[保存] をクリックします。

参照としての既存リクエスト

関連付けられているプロジェクトをプログラムにリンクせずに、プロジェクトリスク、スコープ変更、問題をプログラムに直接関連付けることができます。プログラム参照として添付したプロジェクトリクエストは、[プログラムの概要] ページの対応するセクション ([問題]、[スコープ変更]、[リスク] の棒グラフ) に表示されます。プログラムヘルスに影響するのは、プログラムに直接リンクされているプロジェクトから送信されたものである場合のみです。

プログラムに既存リクエストを参照させるには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboard からプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40 ページ) を参照してください。

2. [参照] セクションまでスクロールします。
3. [新規参照] リストで、[リクエスト (既存)] を選択します。
4. [追加] をクリックします。

[参照の追加: リクエスト] 検索ウィンドウが開きます。

5. 検索基準を指定し、[検索]をクリックします。

参照の追加: リクエスト

選択したリクエストのプログラム番号 30060 に対するリレーションシップを選択:
このプログラム関連 - (情報) - 選択したリクエストはプログラム 30060 に関連付けられています

リクエスト検索結果							1 - 6 / 6 を表示
リクエスト番号 ▾	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者	
<input type="checkbox"/> 30173	PFM - Proposal	CIO's pet project	新規			Admin User	
<input type="checkbox"/> 30172	PFM - Proposal	Web site rollout to Facilities	新規			Admin User	
<input type="checkbox"/> 30189	PFM - Proposal		新規			Admin User	
<input type="checkbox"/> 30168	PFM - Asset	アプリケーション データの入力				Admin User	
<input type="checkbox"/> 30167	PFM - Asset	アプリケーション データの入力				Admin User	
<input type="checkbox"/> 30133	PFM - Asset	アプリケーション データの入力				Admin User	

すべてチェック すべてクリア 1 - 6 / 6 を表示

追加 検索の変更 キャンセル

ウィンドウに、選択するリクエストとプログラムの関係を示すリレーションシップタイプと、検索基準に一致するリクエストが表示されます。

6. リレーションシップタイプと参照として追加するリクエストを選択します。
7. [追加] をクリックします。

[保存時に追加される参照] セクションに、選択したリクエストがリストされます。

8. プログラムにリクエストを添付するため、[保存] をクリックします。

参照としての新規リクエスト

プログラム参照として新規のリクエストを追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboard からプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「プログラムの検索」(40 ページ)を参照してください。

2. [参照] セクションまでスクロールします。
3. [新規参照] リストで、[リクエスト (新規)] を選択します。

4. **[追加]** をクリックします。

[新規リクエストの作成] ウィンドウが開きます。

新規リクエストの作成

リクエストタイプ:

リレーションシップ:
このプログラム関連 - (情報) - 選択したリクエストはプログラム 30060 に関連付けられています

5. **[リクエストタイプ]** フィールドで、リクエストタイプを選択します。
6. **[リレーションシップ]** で、参照される新規リクエストとプログラムの関係を示すリレーションシップオプションを選択します。
7. **[作成]** をクリックします。

[新規作成] ウィンドウが開きます。

8. リクエストを作成するために必要な情報を入力します。



リクエストの作成方法については、『HP Demand Management ユーザーガイド』を参照してください。

[保存時に追加される参照] セクションに、新規リクエストがリストされます。

9. プログラムに新規リクエストを添付するため、**[保存]** をクリックします。

参照としてのタスク

既存のタスクをプログラム参照として追加できます。

既存のタスクを参照させるには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40 ページ)を参照してください。

2. [参照] セクションまでスクロールします。
3. [新規参照] リストで、[タスク] を選択します。
4. [追加] をクリックします。

[参照の追加: タスク] 検索ウィンドウが開きます。

5. 検索基準を指定し、**[検索]**をクリックします。

ウィンドウに、検索基準に一致するリレーションシップタイプとタスクがリストされます。

参照の追加: タスク

検索したタスクの検索結果を 1000 件に制限するリレーションシップタイプを指定:
 このリレーションシップタイプは、選択したタスクはプログラム 10000 件未満でなければなりません

タスク名	プログラム	プログラム ID	プログラム ID	プログラム ID	プログラム ID	プログラム ID	プログラム ID	プログラム ID
<input type="checkbox"/> Analysis	Analysis	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202
<input type="checkbox"/> Converter Task	Analysis	Analysis	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202
<input type="checkbox"/> Developer Tools improvements	Developer Tools	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202	20104202
<input type="checkbox"/> すべての参照								

検索結果: 1000 件

検索 [検索]

6. ページの上部で、タスクとプログラムのリレーションシップタイプを選択します。
7. **[追加]**をクリックします。
[保存時に追加される参照] セクションに、参照されるタスクが表示されます。
8. プログラムに参照を添付するため、**[保存]**をクリックします。

参照としてのURL

プログラムに既存のURLを参照させることができます。

URLをプログラム参照として指定するには、次の手順を実行します。

1. PPM Dashboardからプログラムを開きます。



プログラムを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40 ページ)を参照してください。

2. [参照] セクションまでスクロールします。
3. [新規参照] リストで、[URL] を選択します。
4. [追加] をクリックします。

[参照URL] ウィンドウが開きます。

参照 URL

URL: URL の表示

説明:

OK キャンセル

5. [URL] フィールドに、URLを入力します。
6. [説明] フィールドに、URL情報を入力します。
7. [OK] をクリックします。

[保存時に追加される参照] セクションに、URLが表示されます。

8. プログラムに参照を添付するため、[保存] をクリックします。

Microsoft Excelへのプログラムのエクスポート

[プログラムの概要] ページを Microsoft Excel ファイルにエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. **Microsoft Internet Explorer**バージョン7を使用している場合、インターネットオプションが適切に設定されている必要があります。詳細については、『スタートアップガイド』を参照してください。
2. エクスポートするプログラムを開きます。
プロジェクトを検索して開く方法については、「[プログラムの検索](#)」(40ページ)を参照してください。
3. [プロジェクトの概要] ページで、[**Microsoft Excel**] アイコンをクリックします。
新しいウィンドウが開き、エクスポートが完了するまで設定された間隔でリフレッシュされます。
4. エクスポートしたExcelファイルを保存します。

5 プログラムの管理

HP Program Managementの管理の概要

プログラムの有効期間中には、次のようにさまざまなことが起こります。

- リスクが増大する
- プログラムのプロジェクトスコープが変更される
- 問題が発生する
- 関連付けられているプロジェクトがまとめて終了、停止、キャンセルされる
- ビジネス目標が変更される、または古くなる
- 参照が無効になる、または何らかの変更が加えられる

HP Program Managementでは、これらのイベントは次のとおり分類されます。

- プログラムおよびプロジェクトの問題
- リスク
- スコープの変更

本章では、プログラムや影響を及ぼすイベントの管理方法について説明します。

問題の管理

問題により、プログラムの有効期間中に発生した懸念事項を、トラッキングとレポートが可能なリクエストを使用して特定および解決できます。プログラムについて問題を直接送信するか、プログラムにリンクされているプロジェクトについて送信した問題をエスカレーションすることができます。このようにすることで、プロジェクトマネージャはプロジェクトレベルの問題に対応し、プログラムレベルでの対応が必要な問題のみをエスカレーションすることができます。

本項では、**HP Program Management** でプログラムおよびプロジェクトの問題をトラッキングおよび分析する方法について説明します。問題を送信する方法については、「[プログラムの問題の送信](#)」(22 ページ)を参照してください。

プログラムの問題の検索

プログラムの問題を検索するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[検索]>[プログラムの問題]を選択します。

[リクエストの検索] ページが開きます。[リクエストタイプ] リストで[プログラムの問題] が選択されています。

3. リクエストの検索基準を入力し、[検索]をクリックします。

[リクエスト検索結果] セクションに、検索基準に一致するプログラムの問題がリストされます。

The screenshot shows the 'Project and Portfolio Management Center' interface. The user is logged in as 'Admin User'. The search criteria is set to 'Program Issues'. The search results table is as follows:

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者	部署	作成日	ワークフロー
<input type="checkbox"/> 30185	プログラムの問題	Develop new migration extension	新規	John Groom	通常	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30184	プログラムの問題	Coordinate pre-beta test effort	新規	Finn Gil	高	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30183	プログラムの問題	Deploy to alpha test sites	開く	Leslie Franklin	重大	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30182	プログラムの問題	Budget oversight	開く	Joseph Blanks	高	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30181	プログラムの問題	Oversee IT revamp	新規	Bridget Holbrook	通常	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス

4. [リクエスト番号] カラムのエントリをクリックし、対応するプログラムの問題リクエストを開きます。

[プログラムの問題] ページが開きます。

The screenshot displays the 'Project and Portfolio Management Center' interface. The main content area is titled 'プログラムの問題 - #30185'. It includes a description 'Develop new migration extension', a request status of '新規' (New), and a list of actions: 'アサイン' (Assign), 'レビュー' (Review), '保留中' (On Hold), and 'キャンセル' (Cancel). Below this, there are sections for 'ヘッダー' (Header) and 'サマリ' (Summary). The summary section contains the following details:

- 問題番号: 30185
- 問題ステータス: 新規
- 作成者: Admin User
- 作成日時: 2011/01/06
- プログラム: Enterprise Business Apps
- 優先度: 通常
- アサイン先: John Groom
- 説明: Develop new migration extension

Below the summary, there is a '問題の詳細' (Issue Details) section with the following fields:

- 予定日: 2011/01/06
- 期日: 2011/01/01
- 問題タイプ: 技術的
- 詳細な説明: (Empty text area)
- 提案された解決: (Empty text area)
- ビジネス機能: (Empty text area)

At the bottom, there is a table with the following rows:

名	メモ	4件が存在します。
名	ステータス	
名	承認	1承認が存在します

5. 必要に応じて、[プログラムの問題] ページのフィールドの値を編集し、[保存] をクリックします。

プロジェクトの問題の検索

プロジェクトの問題を検索するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[検索]>[プロジェクトの問題]を選択します。

[リクエストの検索] ページが開きます。[リクエストタイプ] リストで[プロジェクトの問題] がすでに選択されています。

3. リクエストの検索基準を入力し、[検索]をクリックします。

[リクエスト検索結果] セクションに、検索基準に一致するプロジェクトの問題がリストされます。

The screenshot shows the 'Project and Portfolio Management Center' interface. The search results are displayed in a table with the following columns: Request ID, Request Type, Description, Status, Assigned To, Assigned By, Created By, Created Date, and Work Item ID. The table contains 6 rows of data, all with a status of 'Open'.

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	担当	作成者	登録	作成日	ワークフロー
30192	プロジェクトの問題	Usability testing	新規	Elvige Helmsvik	調査	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス
30191	プロジェクトの問題	Reversible and distributive specifications	新規	Barbara Oddy	調査	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス
30190	プロジェクトの問題	We need another cube for contractors expected next month	新規		調査	Joseph Banks		2011.01.06	問題管理プロセス
30109	プロジェクトの問題	Company shutdown directly impacts delivery timeline	新規		調査	Joseph Banks		2011.01.06	問題管理プロセス
30108	プロジェクトの問題	New requirements for Order Processing introduced during testing	新規		調査	Admin User		2011.01.06	問題管理プロセス
30187	プロジェクトの問題	Losing our Oracle Apps expert QA person	開く	Joseph Banks	調査	Joseph Banks		2011.01.06	問題管理プロセス
30153	プロジェクトの問題	Project 1001	開く	Eliot Packer	調査	Admin User		2010.02.22	問題管理プロセス

4. リストされているプロジェクトの問題を開くには、[リクエスト番号] カラムでリクエスト番号をクリックします。

[プロジェクトの問題] ページが開きます。

ダッシュボード - フロント ページ > リクエストの検索 > 検索結果 > リクエスト番号30188

[印刷用バージョン](#) 結果 5 / 7

プロジェクトの問題 - #30188

説明: New requirements for Order Processing introduced during testing
リクエスト ステータス: 新規 (完全なステータスを表示)

利用できるアクション

問題のレビューとアサイン (ステップ タイムアウト、以下のアクションでオーバーライド)

ヘッダー
 サマリ

問題番号: 30188 問題ステータス: 新規
作成者: Admin User 作成日時: 2011.01.06 アサイン先:

プロジェクト:

優先度: エスカレーションレベル:

説明:

詳細
 問題の詳細

特定日: 期日:

問題タイプ:

詳細な説明:

提案された解決:

ビジネス機能:

メモ ノテが存在しません

ステータス

参照 1 参照が存在します

5. 必要な変更を行い、[保存] をクリックします。

問題アクティビティの分析

HP Program Managementでは、問題アクティビティのグラフで、指定した期間の毎月(または毎週)の問題の作成数と解決数を確認できます。

問題アクティビティを表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[問題]>[問題アクティビティの分析]を選択します。

[問題アクティビティ：作成と解決の時間変化] ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	説明
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([問題]) のままにします。
プログラム名	問題解決情報を表示するプログラムの名前。
プロジェクト	(エスカレーションされた) 問題の情報を表示するために選択したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[プロジェクト] フィールドを空白にすると、そのプログラムにリンクされているすべてのプロジェクトからプログラムレベルにエスカレーションされた問題の問題解決時間の情報が表示されます。
解決日が次の日から / 次の値まで	問題解決情報を表示する日付範囲。
期間	問題解決情報を表示するために使用する時間単位。[月] (デフォルトの選択) または [週] を選択します。

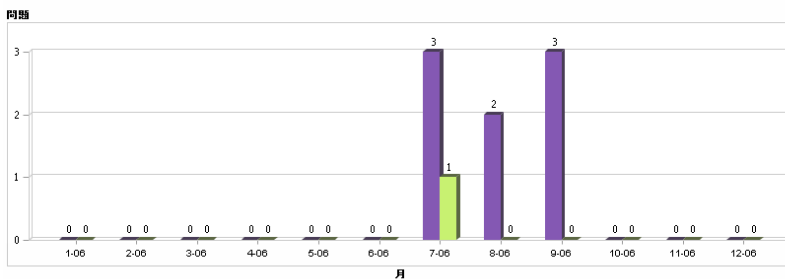
4. [適用] をクリックします。

[問題アクティビティ: 作成と解決の時間変化] ページに結果が表示されます。

ダッシュボード - フロント ページ > リクエストの種類 > 検索結果 > リクエスト番号 30188 > 問題 アクティビティ

問題 アクティビティ: 作成と解決の時間変化

問題 期間 Enterprise Business Apps 次の 1 月当たりの作成、および解決 問題数: 2006/01/01 ~ 2006/12/31



■ 作成された問題 ■ 解決された問題

フィルタ基準 適用

表示:

プログラム名:

プロジェクト:

解決日が次の日から: 次の日まで: (最大 12 期間が表示されます)

期間:

適用

このページのグラフに、指定したプログラムと日付範囲を対象として、プログラムレベルにエスカレーションされたプログラムの問題およびプロジェクトの問題の作成数および解決数が示されます。

問題解決時間の分析

HP Program Managementのグラフで、送信された問題（プログラムレベルにエスカレーションされたプログラムの問題およびプロジェクトの問題）の解決にどれくらい時間がかかったかを確認できます。

問題解決時間を分析するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. メニューバーから、[開く] > [Program Management] > [問題] > [問題解決時間の分析] を選択します。

[問題 解決: 平均解決時間] ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	説明
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([問題]) のままにします。
プログラム名	問題解決情報を表示するプログラムの名前。
プロジェクト	(エスカレーションされた) 問題の情報を表示するために選択したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[プロジェクト] フィールドを空白にすると、そのプログラムにリンクされているすべてのプロジェクトからプログラムレベルにエスカレーションされた問題の問題解決時間の情報が表示されます。
解決日が次の日から / 次の値まで	問題解決情報を表示する日付範囲。問題リクエストの送信時刻は、問題解決時間の計算に使用されます。
期間	問題解決情報を表示するために使用する時間単位。[月] (デフォルトの選択) または [週] を選択します。

4. [適用] をクリックします。

HP Program Management のグラフに、指定した期間を対象として、解決された問題の解決に要した平均日数が表示されます。ここでは、プログラムレベルにエスカレーションされたプログラムの問題およびプロジェクトの問題が含まれます。

リスクの管理

プロジェクトおよびプログラムリスクにより、トラッキングとレポートが可能なリクエストを使用してリスクを特定および解決できます。リスクをエスカレーションすることで、プロジェクトがリンクされているプログラムでそのリスクを表示できるようになります。

本項では、リスクを検索し、リスクアクティビティおよびリスク解決を表示する方法について説明します。リスクリクエストを送信する方法については、「プログラムレベルのリスクの送信」(29 ページ)および「プロジェクトリスクの送信」(32 ページ)を参照してください。

プロジェクトリスクの検索

プロジェクトリスクを検索するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[検索] > [プロジェクトリスク] を選択します。
[リクエストの検索] ページが開きます。[表示するリクエストの検索] の下の [リクエストタイプ] フィールドで、[プロジェクトリスク] が選択されています。
3. [表示するリクエストの検索] セクションで、リクエストの検索基準を指定します。
4. 検索結果の表示を設定するには、[列の選択] セクションで [利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドの間で項目を移動します。

5. [検索] をクリックします。

[リクエスト検索結果] セクションに、検索基準に一致するプロジェクトリ
スクがリストされます。

Excel にエクスポート 検索の変更

次の名前 でこの検索を保存: 保存 保存済み検索の管理

リクエスト検索結果 1 - 7 / 7 を表示

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者	部署	作成日	ワークフロー
<input type="checkbox"/> 30199	プロジェクト リスク	risk	新規	Adam Dubrow		Admin User		2011/01/07	リスク管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30198	プロジェクト リスク	testing	新規		重大	Admin User		2011/01/07	リスク管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30197	プロジェクト リスク	testing program	新規	dave branchen	重大	Admin User		2011/01/07	リスク管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30196	プロジェクト リスク	issue 1	開く	dave branchen	低	Admin User		2011/01/07	リスク管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30195	プロジェクト リスク	test2	新規		高	Admin User		2011/01/07	リスク管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30166	プロジェクト リスク	Resource drain due to KTLO activities	新規		通常	Admin User		2010/11/22	リスク管理プロセス
<input type="checkbox"/> 30154	プロジェクト リスク	Project 1001	開く	Carolyn Sayer	重大	Admin User		2010/11/22	リスク管理プロセス

すべてチェック すべてクリア 印刷 閉じる 1 - 7 / 7 を表示

Excel にエクスポート 検索の変更

6. プロジェクトリスクリクエストを開くには、[リクエスト番号] カラムでリクエスト番号をクリックします。

[プロジェクトリスク] ページが開きます。

ダッシュボード - フロント ページ > リクエストの検索 > 検索結果 > リクエスト番号30166

[印刷用バージョン](#) 結果 6 / 7

プロジェクト リスク - #30166

説明: Resource drain due to KTLO activities
リクエスト ステータス: 新規 (完全なステータスを表示)

利用できるアクション

プロジェクト リード レビューとアサイン (ステップ タイムアウト、以下のアクションでオーバーライド)

アサイン	レビュー	保留中	キャンセル
------	------	-----	-------

PMO リード レビューとアサイン (ステップ タイムアウト、以下のアクションでオーバーライド)

アサイン	レビュー	保留中	キャンセル
------	------	-----	-------

[コピーの作成](#) [削除](#)

[すべて展開する](#) [すべて折りたたむ](#) [保存](#)

ヘッダー

サマリ

リスク番号:	30166	リスク ステータス:	新規		
作成者:	Admin User	作成日時:	2011/12/27	アサイン先:	<input type="text"/>
プロジェクト:	Analysis				
優先度:	通常	リスク インパクト レベル:	レベル 1	可能性:	中 [11-25%]
説明:	Resource drain due to KTLO activities				

詳細

リスクの詳細

リスク タイプ:	スケジュール	*特定日:	2011/01/07
詳細な説明:	This upgrade project is being implemented by the same resources that normally provide production-level support. Although we have agreement to suspend enhancements to production, given that the project will last a year, it is likely that there will be significant pressure to pull resources back to do production enhancements.		
クローズ基準:	QA round 1 complete and no P1s		
アクション計画:	Change Control Board is tasked with monitoring this. Project schedules include a margin to absorb small pulls such as audit-related work. 2 junior developers will be available 50% time to make fixes or small enhancements.		

メモ	>メモが存在しません。
ステータス	
参照	1 参照が存在します

[コピーの作成](#) [削除](#)

[保存](#)

7. プロジェクトリスクリクエストに必要な変更を行い、[保存] をクリックします。

プログラムリスクの検索

プログラムリスクを検索するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[検索]** > **[プログラムリスク]** を選択します。
[リクエストの検索] ページが開きます。**[表示するリクエストの検索]** の下の **[リクエストタイプ]** フィールドで、**[プログラムリスク]** が選択されています。
3. **[表示するリクエストの検索]** セクションで、リクエストの検索基準を指定します。
4. 検索結果の表示を設定するには、**[列の選択]** セクションで **[利用できる列]** フィールドと **[選択した列]** フィールドの間で項目を移動します。
5. **[検索]** をクリックします。
[リクエスト検索結果] セクションに、検索基準に一致するプログラムリスクがリストされます。
6. プログラムリスクリクエストを開くには、**[リクエスト番号]** カラムでリクエスト番号をクリックします。
[プログラムリスク] ページが開きます。
7. プログラムリスクリクエストに必要な変更を行い、**[保存]** をクリックします。

リスクアクティビティの分析

リスクアクティビティを分析するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[Program Management]** > **[リスク]** > **[リスクアクティビティの分析]** を選択します。
[リスクアクティビティ：作成と解決の時間変化] ページが開きます。**[表示]** リストで、**[リスク]** が選択されています。

3. 次の情報を入力します。

フィールド名	説明
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([リスク]) のままにします。
プログラム名	リスクアクティビティを表示するプログラムの名前。
プロジェクト	(エスカレーションされた) リスクアクティビティを表示するために選択したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[プロジェクト] フィールドを空白にすると、そのプログラムにリンクされているすべてのプロジェクトのすべてのリスクのアクティビティ情報が表示されます。
解決日が次の日から / 次の値まで	リスクアクティビティを表示する日付範囲。
期間	リスクアクティビティを表示するために使用する時間単位。[月] (デフォルトの選択) または [週] を選択します。

4. [適用] をクリックします。

HP Program Management のグラフに、指定したプログラムと日付範囲を対象として、リスクの作成数および解決数が示されます。

5. グラフに表示されている情報を変更するには、[フィルタ基準] セクションで情報を変更して [適用] をクリックします。

リスク解決時間の分析

HP Program Management を使って、プログラムに関連付けられているリスクの解決にどれくらい時間がかかったを評価できます。

解決時間を分析するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、[開く] > [Program Management] > [リスク] > [リスク解決時間の分析] を選択します。

[リスク 解決: 平均解決時間] ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	説明
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([リスク]) のままにします。
プログラム名	リスク解決時間を表示するプログラムの名前。
プロジェクト	リスク解決情報を表示するために選択したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[プロジェクト] フィールドを空白にすると、そのプログラムにリンクされているすべてのプロジェクトのすべてのリスクの解決情報が表示されます。
解決日が次の日から / 次の値まで	リスク解決情報を表示する日付範囲。
期間	リスク解決時間を表示するために使用する時間単位。[月] (デフォルトの選択) または [週] を選択します。

4. [適用] をクリックします。
[リスク 解決: 平均解決時間] ページのグラフに、指定した期間を対象として、解決されたリスクの解決に要した平均日数が表示されます。
5. グラフの表示内容を変更するには、[フィルタ基準] セクションで情報を変更して [適用] をクリックします。

スコープ変更の管理

プロジェクトの有効期間中に発生したイベントによって、プロジェクトのスコープが変更されることがあります。プロジェクトのスコープの変更は、そのプロジェクトが関連付けられているプログラムのスコープに影響します。プロジェクトのスコープ変更リクエストを通じて、これらの変更の表示と処理のほか、変更に基づく意思決定を行うことができます。これらのスコープ変子うリクエストの表示と監視には、HP Program Managementを使用します。

スコープ変更の検索

プロジェクトのスコープ変更を検索するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く]>[Program Management]>[スコープ変更]>[スコープ変更の検索]を選択します。

[リクエストの検索] ページが開きます。[リクエストタイプ] リストフィールドに、「プロジェクトのスコープ変更リクエスト」という値が表示されます。

3. [表示するリクエストの検索] セクションで、リクエストの検索基準を指定します。
4. 検索結果の表示を設定するには、[列の選択] セクションで [利用できる列] フィールドと [選択した列] フィールドの間で項目を移動します。
5. [検索] をクリックします。



すべてのプロジェクトのスコープ変更リクエストをリストするには、検索基準を指定せずに [検索] をクリックします。

[リクエスト検索結果] セクションに、検索基準に一致するプロジェクトの
スコープ変更リクエストがリストされます。

Excelにエクスポート 検索の変更

次の名前での検索を保存: 保存 保存済み検索の管理

リクエスト検索結果 1 - 6 / 6 を表示

リクエスト番号	リクエストタイプ	説明	ステータス	アサイン先	優先度	作成者	部署	作成日	ワークフロー
<input type="checkbox"/> 30207	プロジェクトのスコープ変更リクエスト	ppppppp	新規			Admin User		2011.01.07	スコープ変更リクエスト プロセス
<input type="checkbox"/> 30206	プロジェクトのスコープ変更リクエスト	issue 1	新規		通常	Admin User		2011.01.07	スコープ変更リクエスト プロセス
<input type="checkbox"/> 30205	プロジェクトのスコープ変更リクエスト	opoopoooo	新規			Admin User		2011.01.07	スコープ変更リクエスト プロセス
<input type="checkbox"/> 30204	プロジェクトのスコープ変更リクエスト	test2	新規		重大	Admin User		2011.01.07	スコープ変更リクエスト プロセス
<input type="checkbox"/> 30203	プロジェクトのスコープ変更リクエスト	test1	新規		通常	Admin User		2011.01.07	スコープ変更リクエスト プロセス
<input type="checkbox"/> 30165	プロジェクトのスコープ変更リクエスト	Scope Change	新規			Admin User		2010.11.22	スコープ変更リクエスト プロセス

すべてチェック 1 - 6 / 6 を表示

Excelにエクスポート 検索の変更

6. リストされているプロジェクトのスコープ変更リクエストを開くには、[リクエスト番号] カラムでリクエスト番号をクリックします。

[プロジェクトのスコープ 変更リクエスト] ページが開きます。

印刷用バージョン 結果 2 / 6

プロジェクトのスコープ変更リクエスト - #30206

説明: issue 1
リクエスト ステータス: 新規 (完全なステータスを表示)

利用できるアクション

CR の特定の文書化

ヘッダー

サマリ

スコープ変更番号: 30206 スコープ変更ステータス: 新規

作成者: Admin User 作成日時: 2011.01.07 アサイン:

プロジェクト: sm - 2

優先度: 通常 CR レベル: レベル 1 ビジネスインパクトの重大度: 重大

説明: issue 1

詳細

メモ メモが存在しません。

ステータス

参照 1 参照が存在します

7. 必要な変更を行い、[保存] をクリックします。

スコープ変更アクティビティの分析

プロジェクトのスコープ変更アクティビティを分析するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[開く] > [Program Management] > [スコープ変更] > [スコープ変更アクティビティの分析] を選択します。
[スコープ変更 アクティビティ: 作成と解決の時間変化] ページが開きます。
3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

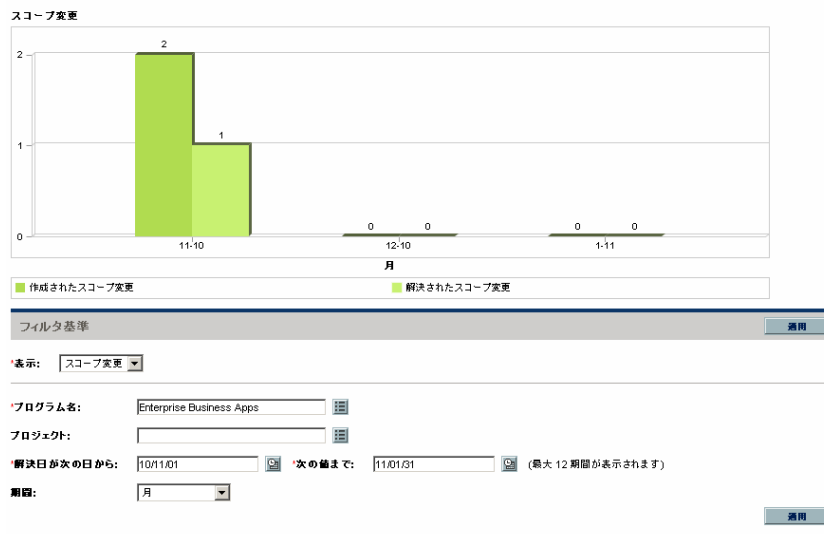
フィールド名	説明
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([スコープ変更]) のままにします。
プログラム名	プロジェクトのスコープ変更リクエストのアクティビティを表示するプログラムの名前。
プロジェクト	スコープ変更リクエストのアクティビティを表示するために選択したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[プロジェクト] フィールドを空白にすると、そのプログラムにリンクされているすべてのプロジェクトのすべてのスコープ変更リクエストのアクティビティ情報が表示されます。
解決日が次の日から / 次の値まで	スコープ変更リクエストのアクティビティ情報を表示する日付範囲。
期間	スコープ変更リクエストのアクティビティを表示するために使用する時間単位。[月] (デフォルトの選択) または [週] を選択します。

4. [適用] をクリックします。

HP Program Managementのグラフに、指定した期間の毎月(または毎週)のプロジェクトのスコープ変更の作成数と解決数が表示されます。

スコープ変更 アクティビティ: 作成と解決の時間変化

スコープ変更 期間 Enterprise Business Apps 次の1月当たりの作成、および解決 スコープ変更 数: 2010/1/01 ~ 2011/01/31



5. グラフの表示内容を変更するには、[フィルタ基準] セクションで情報を変更して [適用] をクリックします。

スコープ変更解決時間の分析

HP Program Management を使って、プログラムに関連付けられているプロジェクトのスコープ変更リクエストの解決にどれくらい時間がかかったかを評価できます。

プロジェクトのスコープ変更解決時間を表示するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログインします。
2. メニューバーから、[開く] > [Program Management] > [スコープ変更] > [スコープ変更解決時間の分析] を選択します。

[スコープ変更 解決: 平均解決時間] ページが開きます。

3. [フィルタ基準] セクションで、次の情報を入力します。

フィールド名	説明
表示	表示するリクエストタイプ。デフォルトの選択 ([スコープ変更]) のままにします。
プログラム名	プロジェクトのスコープ変更リクエストの解決時間を表示するプログラムの名前。
プロジェクト	スコープ変更リクエストの解決時間を表示するために選択したプログラムにリンクされているプロジェクトの名前。[プロジェクト] フィールドを空白にすると、そのプログラムにリンクされているすべてのプロジェクトのすべてのスコープ変更リクエストの解決時間が表示されます。
解決日が次の日から / 次の値まで	平均解決時間を表示する日付範囲。
期間	スコープ変更リクエストの解決時間を表示するために使用する時間単位。[月] (デフォルトの選択) または [週] を選択します。

4. **[適用]** をクリックします。

HP Program Management のグラフに、指定したプログラムと期間を対象として、解決されたプロジェクトのスコープ変更の解決に要した平均日数が表示されます。

5. グラフに表示されているデータを変更するには、**[フィルタ基準]** セクションで情報を変更して **[適用]** をクリックします。

プログラムプロセスの管理

プログラムプロセスの管理とは、プログラムの問題、リスク、スコープ変更リクエストタイプに関連付けられているワークフローに変更を加えることを指します。あるプログラムのプログラムプロセスを変更すると、すべてのプログラムのプロセスが変わります。そのため、特にワークフローがリクエストタイプによって使用中である場合に、問題が生じることがあります。

問題プロセスの管理

PPM Workbench を使って、エスカレーションされたプロジェクトの問題およびプログラムの問題に適用されているプロセスを管理できます。

プログラムの問題プロセスを管理するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[プログラムプロセス]** > **[問題プロセスの管理]** を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフロー : Issue Management Process] ウィンドウが開きます。

3. [ワークフロー : 問題管理プロセス] ウィンドウのタブを使って、プログラムの問題のワークフロー、レイアウト、使用できるリクエストタイプ、セキュリティに必要な変更を加えます。
4. **[OK]** をクリックします。[ワークフロー : 問題管理プロセス] ウィンドウが閉じます。
5. PPM Workbench を終了します。

プロジェクトリスクプロセスの管理

プログラムにリンクされているプロジェクトについて送信済みのリスクに適用されているプロセスを管理するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[プログラムプロセス]** > **[プロジェクトリスクプロセスの管理]** を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフロー: Risk Management Process] ウィンドウが開きます。

3. [ワークフロー: リスク管理プロセス] ウィンドウのタブを使って、ワークフロー、ワークフローステップ、レイアウト、使用できるリクエストタイプ、セキュリティに必要な変更を加えます。
4. **[OK]** をクリックします。[ワークフロー: リスク管理プロセス] ウィンドウが閉じます。
5. PPM Workbenchを終了します。

プログラムリスクプロセスの管理

プログラムについて送信済みのリスクに適用されているプロセスを管理するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[プログラムプロセス]** > **[プログラムリスクプロセスの管理]** を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフロー: プログラムリスク管理プロセス] ウィンドウが開きます。

3. [ワークフロー: プログラムリスク管理プロセス] ウィンドウのタブを使って、ワークフロー、ワークフローステップ、レイアウト、使用できるリクエストタイプ、セキュリティに必要な変更を加えます。
4. **[OK]** をクリックします。[ワークフロー: プログラムリスク管理プロセス] ウィンドウが閉じます。
5. PPM Workbenchを終了します。

スコープ変更プロセスの管理

PPM Workbench を使って、プロジェクトのスコープ変更リクエストに適用されているプロセスを管理できます。

プログラムのスコープ変更プロセスを管理するには、次の手順を実行します。

1. PPM Center にログオンします。
2. メニューバーから、**[開く]** > **[管理]** > **[プログラムプロセス]** > **[スコープ変更プロセスの管理]** を選択します。

[ワークフローステップソース]、[ワークフロー Workbench]、[ワークフロー: スコープ変更リクエストプロセス] ウィンドウが開きます。
3. [ワークフロー: スコープ変更リクエストプロセス] ウィンドウで、ワークフロー、ワークフローステップ、レイアウト、使用できるリクエストタイプ、セキュリティに必要な変更を加えます。
4. **[OK]** をクリックします。[ワークフロー: スコープ変更リクエストプロセス] ウィンドウが閉じます。
5. PPM Workbench を終了します。

6 [プログラムマネージャ] ページ

[プログラムマネージャ] ページの概要

HP Program Managementには、事前設定済みの [プログラムマネージャ] ページがあります。[プログラムマネージャ] ページには、ページでのポートレットの設定によって、1つ以上のプログラムが表示されます。複数の [プログラムマネージャ] ページに複数のプログラムが表示されるように設定することもできます。図 6-1に [プログラムマネージャ] ページを示します。

図 6-1. [プログラムマネージャ] ページ

プログラム マネージャ

最新更新ページ: 2011/01/12 11:22:31

プログラム リスト

プログラム名	相対的優先度	プログラム マネージャ Δ	プログラムのステータス	問題	リスク	スコープ変更
IT Hardware Upgrade	3	Adam Dubrow	アクティブ	<input checked="" type="checkbox"/> 2	<input checked="" type="checkbox"/> 5	<input checked="" type="checkbox"/> 1
End of Year Push	1	Adam Dubrow	新規	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
dbranchen testing	2	dave branchen	新規	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
sm	2		新規	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0

Excel にエクスポート 4 件中、1 件目から 4 件目までを表示します。 << >> 最大化

プログラム コンテンツ リスト

リクエスト ID Δ	名前	タイプ
30159	Training	Project
30172	PFM - Proposal	Proposal

Excel にエクスポート 2 件中、1 件目から 2 件目までを表示します。 << >> 最大化

問題 リスト

プロジェクト Δ	問題番号	優先度	エスカレーション レベル	ステータス	説明
	30182	高	プログラム	開く	Budget oversight
	30160	重大	プログラム	新規	Program issue
	30161	低	プログラム	新規	Program issue
	30185	通常	プログラム	新規	Develop new migration extension
	30183	重大	プログラム	開く	Deploy to alpha test sites

Excel にエクスポート 7 件中、1 件目から 5 件目までを表示します。 << >> 最大化

プログラムのスコープ変更 リスト

プロジェクト Δ	スコープ変更番号	優先度	変更リクエスト レベル	ステータス	説明
Training	30165	高	レベル 2	新規	Scope Change

Excel にエクスポート 1 件中、1 件目から 1 件目までを表示します。 << >> 最大化

プログラム リスク リスト

プロジェクト Δ	リスク番号	可能性	インパクト レベル	ステータス	説明
Training	30198	中 [11-25%]	レベル 2	新規	testing
Training	30195	中 [11-25%]	レベル 3	新規	test2
Training	30197	中 [11-25%]	レベル 2	新規	testing program
	30162	中 [11-25%]	レベル 2	新規	Program Risk
	30163	高 [26-100%]	レベル 2	新規	Program Risk

Excel にエクスポート 5 件中、1 件目から 5 件目までを表示します。 << >> 最大化

プログラム コスト サマリ

コストの概要		
資本金		計画 実数
人件費	USD0	USD0
非人件費	USD0	USD0
合計	USD0	USD0
運用		
人件費	USD0	USD0
非人件費	USD0	USD0
合計	USD0	USD0
プログラム 合計	USD0	USD0

コストは 11/01/12 9:54:58 JST 現在の最新情報です。コストは 11/01/12 12:54:58 JST に更新されるようにスケジュールされています。

アーンドバリューの更新

PPM Dashboardへの [プログラマネージャ] ページの追加

PPM Dashboardに事前設定済みの [プログラマネージャ] ページを追加するには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. メニューバーから、[**ダッシュボード**] > [**ダッシュボードのパーソナライズ**] を選択します。
[**ダッシュボードのパーソナライズ**] ページが開きます。
3. メニューバーの右側の領域で [**非公開のページ**] をクリックします。
4. [**追加**] アイコンをクリックします。
5. [**事前設定ページの追加**] を選択します。

使用可能な事前設定済みの PPM Dashboard のページのリストが表示されます。

6. [**プログラマネージャ**] ページを選択し、[**OK**] をクリックします。
ページが PPM Dashboard に追加されます。
7. 必要に応じて、[**プログラマネージャ**] ページとポートレットをカスタマイズします。

PPM Dashboard に加えた変更は、自動的に保存されます。

[プログラムマネージャ] ページのポートレット

本項では、[プログラムマネージャ] ページに表示されるデフォルトのポートレットについて説明します。これらのポートレットをパーソナライズする方法については、「ポートレットのカスタマイズ」(112 ページ)を参照してください。

プログラムリストポートレット

プログラムリストポートレット (図 6-2) により、システム内のすべてのプログラムの詳細の高レベルのサマリが提供されます。プログラムの優先度、ステータス、関連付けられている問題などの一般情報が表示されます。このポートレットをパーソナライズして、プログラム名やプロジェクト関連の基準に基づいてフィルタを実行したり、ユーザが関係のあるデータに集中できるようにしたりすることができます。

図 6-2. プログラムリストポートレット



プログラム名	相対的優先度	プログラム マネージャ	プログラムのステータス	問題	リスク	スコープ変更
IT Hardware Upgrade	3	Adam Dubrow	アクティブ	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 1
End of Year Push	1	Adam Dubrow	新規	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
branches testing	2	dave branches	新規	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
sm	2		新規	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0

Excel にエクスポート 4件中、1件目から4件目までを表示します。 << >> 最大化



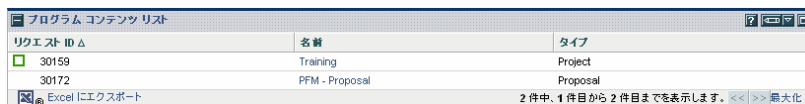
リストされているプログラムを表示するには、[プログラム名] カラムで項目をクリックします。

プログラムリストポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある[ヘルプ]アイコンをクリックします。

プログラムコンテンツリストポートレット

プログラムコンテンツリストポートレット (図 6-3) では、プログラムに関連付けられているすべてのプロジェクトと、それぞれのヘルスインジケータを表示できます。このポートレットには、さまざまなプログラムとそれぞれに関連付けられているプロジェクトを表示するための複数のインスタンスが存在できます。プロジェクト名、ステータス、ヘルスなど、指定した多くの基準に基づき、ポートレットで表示されるプロジェクトを選択できます。[名前] カラムのエントリをクリックすると、[プロジェクト] ページにドリルダウンできます。

図 6-3. プログラムコンテンツリストポートレット



リクエスト ID	名前	タイプ
30159	Training	Project
30172	PFM - Proposal	Proposal

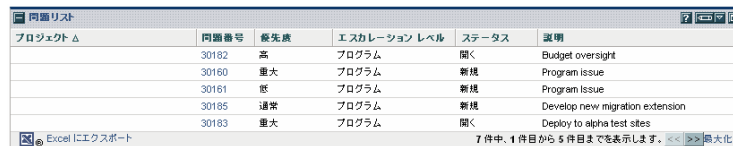
プログラムコンテンツリストポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある[ヘルプ]アイコンをクリックします。

問題リストポートレット

問題リストポートレット (図 6-4) では、選択したプログラムに直接関連付けられているすべての問題がリストされます。1ページにこのポートレットの複数のインスタンスを表示し、複数のプログラムとそれぞれに関連付けられている問題を同時に確認できます。

問題リストポートレットをパーソナライズして、プログラムのステータス、優先度、エスカレーションレベルなどの特定の基準に基づいて問題を表示できます。個々のプロジェクトの情報を表示するには、[プロジェクト] カラムでプロジェクトをクリックします。

図 6-4. 問題リストポートレット



プロジェクト Δ	問題番号	優先度	エスカレーション レベル	ステータス	説明
	30182	高	プログラム	開く	Budget oversight
	30160	重大	プログラム	新規	Program issue
	30161	低	プログラム	新規	Program issue
	30185	通常	プログラム	新規	Develop new migration extension
	30183	重大	プログラム	開く	Deploy to alpha test sites

Excel にエクスポート 7件中、1件目から5件目までを表示します。 << >> 最大化

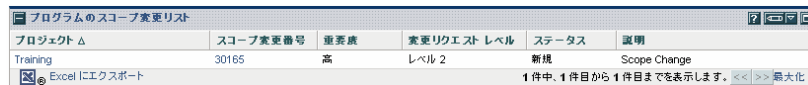
問題リストポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [ヘルプ] アイコンをクリックします。

プログラムのスコープ変更リストポートレット

プログラムのスコープ変更リストポートレットでは、特定のプログラムに関連付けられているすべてのスコープ変更がリストされます(図 6-5)。1ページにこのポートレットの複数のインスタンスを表示し、複数のプログラムとそれぞれに関連付けられているスコープ変更を同時に確認できます。

プログラムのスコープ変更リストポートレットをカスタマイズして、ステータス、重要度、変更リクエストレベルなどに基づいてスコープ変更を表示できます。個々のプロジェクトの情報を表示するには、[プロジェクト] カラムでプロジェクトをクリックします。

図 6-5. プログラムのスコープ変更リストポートレット



プロジェクト Δ	スコープ変更番号	重要度	変更リクエストレベル	ステータス	説明
Training	30165	高	レベル 2	新規	Scope Change

プログラムのスコープ変更リストポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある[ヘルプ]アイコンをクリックします。

プログラムリスクリストポートレット

プログラムリスクリストポートレット(図 6-6)では、選択したプログラムに関連付けられているすべてのリスクがリストされます。1 ページにこのポートレットの複数のインスタンスを表示し、複数のプログラムとそれぞれに関連付けられているリスクを同時に確認できます。

プログラムリスクリストポートレットをパーソナライズして、ステータス、重要度、可能性などに基づいてリスクを表示できます。

[プロジェクト] カラムのエントリをクリックすると、[プロジェクト] ページにドリルダウンできます。

図 6-6. プログラムリスクリストポートレット



プログラム	リスクID	可能性	インパクト	レベル	ステータス	説明
Training	30188	中 [11-25%]	レベル 2	監視	testing	
Training	30195	中 [11-25%]	レベル 3	監視	test2	
Training	30187	中 [11-25%]	レベル 2	監視	testing program	
	30182	中 [11-25%]	レベル 2	監視	Program Risk	
	30183	高 [26-100%]	レベル 2	監視	Program Risk	

プログラムリスクリストポートレット用に構成できるすべてのフィルタフィールドの説明を表示するには、ポートレットの右上隅にある [ヘルプ] アイコンをクリックします。

プログラムコストサマリポートレット

プログラムコストサマリポートレット(図 6-7)では、プログラムのコンテンツのロールアップ済みコストに基づき、プログラムコストのヘルスの概要が表示されます。人件費および非人件費の内訳、ベースラインに対する合計コスト、計画コストと実績コストが図に示されます。

プログラムコストサマリポートレットには、[プログラム名]というフィルタフィールドのみがあります。



このポートレットでデータを表示するには、HP Financial Managementを有効化し、財務サマリがアクティブになっている必要があります。プロジェクトの財務サマリがアクティブではない場合、そのプロジェクトの作業計画のコスト情報が使用されます。

図 6-7. プログラムコストサマリポートレット

コストの概要		計画	実績
総コスト		USD0	USD0
人件費		USD0	USD0
非人件費		USD0	USD0
合計		USD0	USD0
プログラム内訳		計画	実績
人件費		USD0	USD0
非人件費		USD0	USD0
合計		USD0	USD0

プログラム内訳
コストは 11/01/21 0:04:00 JST 現在の最新状態です。コストは 11/01/21 12:04:00 JST に更新されるようスケジュールされています。

アラートはここから管理

[**アードバリュの詳細**] をクリックして、プログラムの [EV分析] タブを開きます。[EV分析] タブでは、SPIやCPIなどのコストデータをプログラム内のプロジェクト全体で比較できます。コストデータおよび公式の詳細については、『HP Financial Management ユーザーガイド』を参照してください。

ポートレットのカスタマイズ

ポートレットが表示するデータのほか、データの表示方法がある程度変更できます。

ポートレットをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. PPM Centerにログオンします。
2. カスタマイズするポートレットが表示されている PPM Dashboard ページを開きます。
3. ポートレットの右上隅にある **[編集]** アイコンをクリックします。
[プリファレンスの編集] ページが開きます。
4. ページに表示されるポートレットのタイトルを変更するには、次の手順を実行します。
 - a. ページの上部にある **[タイトルを変更]** をクリックします。
[ポートレットタイトルの編集] ウィンドウが開きます。
 - b. **[タイトル]** フィールドで現在のタイトルを選択し、新しいタイトルを入力します。
 - c. タイトルを保存するには、**[変更]** をクリックします。
5. **[プリファレンス]** セクションと **[表示列の選択]** セクションで、必要な変更を行います。



[プリファレンス] セクションでコントロールの説明を表示するには、ポートレットに戻り、右上隅にある **[ヘルプ]** アイコンをクリックします。

6. **[完了]** をクリックします。

ポートレットに変更が反映されます。

ポートレットの使用の詳細については、『ポートレットとモジュールの作成』を参照してください。

索引

- F**
- プログラム設定, **50**
- M**
- プログラムをエクスポート, **77**
- P**
- プログラム設定, **51**
 - 概要, **10**
 - ビジネス目標, **17**
 - メニューバー, **12**
- U**
- プログラムからの参照, **76**
- あ**
- アクセス
 - プログラムに関する設定, **61**
- え**
- エクスポート
 - プログラムをエクスポート, **77**
 - ファイルにエクスポート, **77**
- か**
- カスタマイズ
 - ページのポートレット, **112**
 - 管理
 - スコープの変更, **94**
 - スコープ変更プロセス, **101**
 - ビジネス目標, **19**
 - プログラムのリスクプロセス, **100**
 - プログラムプロセス, **99**
 - プロジェクトのリスクプロセス, **100**
 - 問題, **80**
 - 問題プロセス, **99**
 - リスク, **88**
- け**
- 検索
 - スコープ変更, **94**
 - プログラム, **40**
 - プログラムの問題, **81**
 - プログラムリスク, **91**
 - プロジェクトの問題, **83**
 - プロジェクトリスク, **88**

こ

更新

プログラムの優先度, **65**

コストアクセス, **61**

さ

削除

ビジネス目標, **20**

プログラム, **50**

プログラムから参照を削除, **49**

プログラムからビジネス目標を削除, **49**

プログラムからライフサイクルエンティティを削除, **49**

作成

ビジネス目標, **17**

プログラム, **16**

プログラムの問題, **22**

プログラムリスク, **29**

プロジェクトのスコープ変更, **34**

プロジェクトの問題, **25**

プロジェクトリスク, **32**

参照

, **76**

タスク, **74**

添付ファイル, **66**

パッケージ, **67, 68**

プログラムからの削除, **49**

プログラムへの追加, **66**

プロジェクト, **69**

リクエスト, **71, 72**

す

スコープの変更

アクティビティの分析, **96**

解決時間の分析, **98**

管理, **94**

検索, **94**

プログラムの設定, **56**

プロジェクト, **22**

プロジェクトに関する作成, **34**

プロジェクトに関する送信, **34**

プロセスの管理, **101**

ヘルスインジケータ, **56**

せ

設定

スコープ変更に関するプログラム設定, **56**

プログラムアクセス, **61**

プログラム設定, **50**

プログラムのヘルスインジケータ, **52**

問題に関するプログラム設定, **52**

リスクに関するプログラム設定, **54**

そ

送信

プログラムの問題, **22**

プログラムリスク, **29**

プロジェクトのスコープ変更, **34**

プロジェクトの問題, **25**

プロジェクトリスク, **32**

リクエスト, **21**

た

タスク

プログラムからの参照, **74**

ダッシュボード

プログラムマネージャページの追加, **105**

つ

追加

ダッシュボードへのプログラムマネージャページの追加, **105**

プログラムに参照を追加, **66**

て

添付ファイル

プログラムからの参照, **66**

は

パッケージ

プログラムからの参照, **67, 68**

ひ

ビジネス目標

から作成, **17**

概要, **17**

管理, **19**

削除, **20**

プログラムからの削除, **49**

変更, **19**

ふ

プログラム

設定の変更, **57**

の設定, **50**

ファイルへのエクスポート

, **77**

の設定, **51**

参照, **76**

アクセスの設定, **61**

概要, **10**

検索, **40**

削除, **50**

作成, **16**

参照の削除, **49**

参照の追加, **66**

設定, **50**

タスク参照, **74**

添付ファイル参照, **66**

パッケージ参照, **67, 68**

ビジネス目標の削除, **49**

プロジェクト参照, **69**

プロセスの管理, **99**

ヘルスインジケータの設定, **52**

ヘルスインジケータの変更, **57**

変更, **44**

問題, **21, 22**

問題の管理, **80**

問題の検索, **81**

問題の作成, **22**

問題の送信, **22**

優先度の更新, **65**

ライフサイクルエンティティの削除, **49**

リクエスト参照, **71, 72**

リクエストの送信, **21**

リスク, **21, 29**

リスクの検索, **91**

リスクの作成, **29**

リスクの送信, **29**

リスクプロセスの管理, **100**

プログラムアクセス, **61**

プログラムコストサマリポートレット, **111**

プログラムコンテンツリストポートレット,
107

プログラム設定

, **50**

, **51**

設定, **50**

変更, **57**

プログラムのスコープ変更リストポートレット,
109

プログラムマネージャページ, **103**

ダッシュボードへの追加, **105**

プログラムリスクリストポートレット, **110**

プログラムリストポートレット, **106**

プロジェクト

スコープの変更, **22, 34**

送信, **25**

プログラムからの参照, **69**

問題, **21, 25**

問題の検索, **83**

問題の作成, **25**
リスク, **22, 32**
リスクの検索, **88**
リスクの作成, **32**
リスクの送信, **32**
リスクプロセスの管理, **100**

プロジェクトのスコープ変更
作成, **34**
送信, **34**

プロセス
プログラムに関する管理, **99**

分析
スコープ変更アクティビティ, **96**
スコープ変更解決時間, **98**
問題アクティビティ, **85**
問題解決時間, **87**
リスクアクティビティ, **91**
リスク解決時間, **93**

へ

ヘルスインジケータ
プログラムのスコープ変更, **56**
変更, **57**
問題, **52**
リスク, **54**

変更
ビジネス目標, **19**
プログラム, **44**
プログラム設定, **57**
プログラムのヘルスインジケータ, **57**

ほ

ポートレット
カスタマイズ, **112**
プログラムコストサマリ, **111**
プログラムコンテンツリストポートレット, **107**
プログラムのスコープ変更リスト, **109**
プログラムリスクリスト, **110**

プログラムリスト, **106**
問題リスト, **108**

め

メニューバー
, **12**

も

問題
アクティビティの分析, **85**
解決時間の分析, **87**
管理, **80**
プログラム, **21**
プログラムでの検索, **81**
プログラムに関する作成, **22**
プログラムに関する送信, **22**
プログラムの設定, **52**
プロジェクト, **21**
プロジェクトでの検索, **83**
プロジェクトに関する作成, **25**
プロジェクトに関する送信, **25**
プロセスの管理, **99**
ヘルスインジケータ, **52**

問題リストポートレット, **108**

ゆ

優先度
プログラムに関する更新, **65**

ら

ライフサイクルエンティティ
プログラムからの削除, **49**

り

リクエスト
プログラムからの参照, **71, 72**
プログラムに送信, **21**
プログラムの問題, **21**

プログラムリスク, **21**
プロジェクトのスコープ変更, **22**
プロジェクトの問題, **21**
プロジェクトリスク, **22**

リスク

アクティビティの分析, **91**
解決時間の分析, **93**
管理, **88**
プログラム, **21**
プログラムでの検索, **91**
プログラムに関する作成, **29**
プログラムに関する送信, **29**
プログラムの設定, **54**
プログラムのプロセスの管理, **100**
プロジェクト, **22**
プロジェクトでの検索, **88**
プロジェクトに関する作成, **32**
プロジェクトに関する送信, **32**
プロジェクトのプロセスの管理, **100**
ヘルスインジケータ, **54**

